

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学識形成の足跡を示す学習成果の公開
23013	教科専門科目 (中学校教科美術)	版画B(エッチング)	湊 七雄	実技(銅版画制作)をとおして、銅版画の基礎を身につける。ドライポイント、エッチング、アクアチントなど、基本的な技法を理解し、制作に活かす。教育現場で実技授業を行う際の留意点等についても理解を深める。	ドライポイント、エッチング、アクアチントなど、銅版画の基本的な表現技法やその手順について理解し、制作を制作することができる。図画工作科の目標と内容を踏まえた「版を用いた表現」の授業設計や運営ができる。		○	○		◎	
23014	教科専門科目 (中学校教科美術)	版画C(リトグラフ)	湊 七雄	実技実習をとおして、石版画の基礎を身につける。教育現場で実技授業を行う際の留意点等についても理解を深める。併せて、オフセット印刷の原理についても理解する。	リトグラフ(石版画)の基本的な表現技法やその手順について理解し、制作することができる。図画工作科の目標と内容を踏まえた「版を用いた表現」の授業設計や運営ができる。		○	○		◎	
20050	課程・コース共通科目	ことばの獲得	伊達 正起	「学生の目標」を参照	この授業を受講することによって学生は、第一言語習得に関わる諸相(例えば、文法や語彙の獲得、認知発達、言語獲得に及ぼす情意的な要因等)について学習し、その結果、子どもの第一言語獲得のメカニズムについての知識を得ることができる。さらに、教科書の内容のテーマについて「教師としての立場に立ったうえで」レポート作成、及びレポートをもとにしたグループ討議と全体討議を行うことで、教科書に書かれている理論を将来教師になった時に実践面でどのように応用して使うのかを考えることができるようになる。	2◎		1◎ 2○		1○ 2○	
20052	課程・コース共通科目	微分積分学 I	榎本 篤司	極限や連続の概念を学習した後、1変数関数の微分法について学ぶ。微分積分学演習 I も併せて受講することが望ましい				◎			
20053	課程・コース共通科目	基礎物理学	栗原 一嘉	物理学の最も基礎となる力学と電磁気学を中心に授業を進める。抽象的な力学と電磁気学の物理概念を理解することによって、自然に対する物理的な見方を身につける。	抽象的な力学の物理概念を、自分の言葉で説明できるようになるまで、トコト考えること。	◎	○	◎	○	○	
20054	課程・コース共通科目	身体と創作表現A	高木 裕美, 八代 健志, 吉村 治広, 星谷 文生, 梅村 憲子	言葉ではない表現手段による表現活動	児童・生徒が表現する際には気おくれを感じたり、恥ずかしさを感じたりする。各学生は、そのような児童・生徒の立場を理解するためにも、自分が恥ずかしさを捨てて表現をできるよう求める。このことが児童・生徒の側に立っての指導に繋がるものと考えられる。	○	○	◎	○	○	
20056	課程・コース共通科目	身体と創作表現C	宗倉 啓, 田中 秀一, 水沢 利栄, 山田 孝禎	体育やスポーツなど身体とそれをめぐる人の活動は、課題や目標の達成、表現、自己のアイデンティティの確立、他者との共存などを意識した精神・身体的文化活動として位置づけることができる。このような活動を自ら創造していくために、身体とそれをめぐる活動を対象にして、各教員が多様な領域からの分析研究の現状、研究の発展の可能性、広がりについて検討を行う。	各教員の授業計画に示したテーマに基づいた講義をはじめ、作品づくりや、発表会・討論会などをとおして、体育・スポーツに関する見識を広め、深める。			○	○	○	
20057	課程・コース共通科目	情報基礎(実習を含む)	塚本 充	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養を身につけること。	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養を身につけること。	○		◎			
20058	課程・コース共通科目	栄養学	村上 亜由美	ヒトが生命を維持するためには、食物から必要な栄養素を適量摂取しなければならない。食物に含まれる栄養素の体内での役割や意義、栄養素の消化吸収および体内代謝など、栄養学に関する基礎的な内容の習得をめざす。	食物に含まれる栄養素の体内での役割や意義、栄養素の消化吸収および体内代謝など、栄養学に関する基礎的な知識を習得する。	○		◎			
20059	課程・コース共通科目	衣生活論	服部 由美子	生活環境の中で被服を着用する目的とその機能を明確にした上で、被服の起源と変遷、被服素材、被服の構成、既製衣料、繊維製品の表示、管理などを取り上げて、衣生活の現状と課題について概説する。	人と衣服とのかわりについて科学的に理解を深め、衣生活に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、活用することができる。	○	○	◎		△	△
20064	課程・コース共通科目	日本史概説	長谷川 裕子	古代から現代に至る日本の歴史は、社会の「進歩」を軸に叙述されてきた。しかし人類の歴史は、はたしてそのような単純な発展過程を辿ってきたのだろうか、「進歩」が排除してきたもの、またそれによってもたらされる諸問題に留意しつつ、さまざまな可能性のなかで選択された歴史の道筋を、その時代に生きた民衆の視点で考えていく。その上で、ヤマト王権から明治憲法体制までの各時代の歴史的段階・特質を理解し、現代社会の位置を確認する。	教科書を含め、歴史叙述とは一つの仮説であるということ、したがって歴史をみる視点によって多様な歴史像が可能となることを理解する。		○	◎			
20060	課程・コース共通科目	保育学 I (実習を含む)	竹内 恵子	「学生の目標」参照	小学校以後の教師として学童以後の子どもの育ちをささげるために、乳幼児期の発達および学校保健の概要を理解する。			◎		◎	
20061	課程・コース共通科目	住生活論(製図を含む)	内山 秀樹	住まいは、人間にとって最も基本的な生活空間であり、一生のうち最も多くの時間をここで過ごしている。住まいの良し悪しは、心身の健康はもとより、子供の成長発達や家族生活の安定、高齢者の自立など、安心・安全な生活に深く影響する。この講義では、住まいを「眠る」、「食べる」、「着る」、「入浴・排泄」などの生活行為の視点で学び、よき住まい手、ひいては住まいの設計者としての理解や知識を深める。	住まいは生きていくうえでの単なる器ではない。単に知識を取得するという姿勢でなく、これからの自分の人生をイメージしながら人や家族が成長する上で、また心豊かに暮らして続けるための最も身近で重要な環境であることの理解を深める。また、教職を目指すものにとっては、児童、生徒にも伝えることができるよう十分な理解を深めることを期待する。	△		◎	△	○	
20075	課程・コース共通科目	発達科学総合文献研究	石井パークマン 麻子, 森 透, 遠藤 貴広, 大和 真希子, 隼瀬 悠里	教育実践科学、臨床教育学、障害児教育学、特別支援教育、児童福祉、障害者福祉等に関する文献や資料の収集方法とその講読・解釈の仕方などを学ぶことを通じて、卒業研究のための基礎的知識・技能を習得する。また、学生それぞれが自分の興味・関心のあるテーマををを探り、深め、卒業研究において活用することを目標とする。	①文献の検索・収集方法を習得すること。 ②文献内容の要約および批判的、多角的な観点からの検討の仕方を学ぶ。 ③他者の意見に耳を傾け、理解しようとする姿勢を培う。 ④5人～11人規模のグループにおける発表と討議を通じて、的確な言語表現と他者理解の経験を積む。 ⑤自主的、継続的に忍耐力を持って研究に取り組む態度を養う。	(5)○	(2)◎ (3)○ (5)○	(1)△ (5)○	(3)◎ (4)◎	(3)○	(2)○
20076	課程・コース共通科目	心理学実験・検査実習	岸 俊行, 大西 将史, 廣澤 愛子, 三橋 美典, 熊谷 高幸, 戎 光	様々な心理学的研究方法に関する知識と技能を習得させ、児童生徒や心身障害に対する理解を促進すること。	様々な心理学的研究方法について実験を通じて学び、児童生徒や心身障害の理解を深めること。	△		△		○	◎
20077	課程・コース共通科目	心理統計・調査法	三橋 美典	心理学実験、教育評価、社会調査などにとって必須であるデータの整理方法・処理方法について学ぶ。	基本的な統計手法の種類を知り、主要な手法については実際に使えること。また、エクセルの使い方を習熟し、自分で計算や図表作成等ができるようになること。	△		△		◎	○
20195	課程・コース共通科目	住生活論	内山 秀樹	住まいは、人間にとって最も基本的な生活空間であり、一生のうち最も多くの時間をここで過ごしている。住まいの良し悪しは、心身の健康はもとより、子供の成長発達や家族生活の安定、高齢者の自立など、安心・安全な生活に深く影響する。この講義では、住まいを「眠る」、「食べる」、「着る」、「入浴・排泄」などの生活行為の視点で学び、よき住まい手、ひいては住まいの設計者としての理解や知識を深める。	住まいは生きていくうえでの単なる器ではない。単に知識を取得するという姿勢でなく、これからの自分の人生をイメージしながら人や家族が成長する上で、また心豊かに暮らして続けるための最も身近で重要な環境であることの理解を深める。また、教職を目指すものにとっては、児童、生徒にも伝えることができるよう十分な理解を深めることを期待する。	△		◎	△	○	
21035	教職科目	特別支援教育総論	石井パークマン 麻子, 三橋 美典	様々な障害や困難を持つ人の特性や状況を理解し、教員として学校・園や地域で支援が行えるための特別支援教育の基本事項を習得させる。	様々な心身障害の特性や気がかりな児童生徒の状況・特性について、教育・医療・福祉の多角的な視点から理解するとともに、特別支援学校のみならず、すべての学校種・学級で必要な特別支援教育の理念や支援方法を身につける。	(2)○	(1)◎ (2)◎	(1)◎ (2)○	(1)○	(1)◎ (2)◎	
21044	教職科目	地域と学校	伊藤 勇, 石井パークマン 麻子, 大和 真希子	現代における学校経営の課題や地域と学校の連携等について基本的な理解を得るため、学校の制度と構成について基礎知識を得た上で、地域力を活かした学校支援、学校力を活かした地域づくり、地域住民の学校参画などに関わるトピックや取り組み事例などをはじめ、広く現代の「地域と学校」に関わる諸問題を取り上げ、積極的な取り組みに携わる実践家の方々の話も交えて、紹介・解説する。本科目は地域を志向した科目である。	学校が抱える諸課題や地域と学校の連携等について理解し、学校の制度と構成について基礎知識を得た上で、地域がもつ多様な力を活かした学校支援や学校の力を活かした地域づくり、そして、地域住民の学校参画の可能性について考え、議論することができる。	◎	○	○	○	△	△

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎=DP達成のために特に重要な事項、○=DP達成のために重要な事項、△=DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
21131	教職科目	算数教材研究	山野下 とよ子	①小学校算数において子どもの発達とめざす学力を考える。 ②算数・数学の世界(内実)について実践的に理解する。 ③算数の指導法を検討し、わかりやすい教え方を考え実践できる力をつける。 ④子どものつまづきの原因についての理解を深める。	・算数・数学の世界やめざす学力について理解する。 数概念の形成、位取り記数法にのった計算体系についての理解 加減乗除の意味とその土台にある量の理論的理解 連続量の数値化から発生する小数・分数と加減乗除の構造の理解 ・実践的な授業づくりについての自分の考えを持ち、再構成レポートや課題レポートを作成する。	○	◎	◎	○	○	△
21137	教職科目	算数教材研究	山野下 とよ子	①小学校算数において子どもの発達とめざす学力を考える。 ②算数・数学の世界(内実)について実践的に理解する。 ③算数の指導法を検討し、わかりやすい教え方を考え実践できる力をつける。 ④子どものつまづきの原因についての理解を深める。	・算数・数学の世界やめざす学力について理解する。 数概念の形成、位取り記数法にのった計算体系についての理解 加減乗除の意味とその土台にある量の理論的理解 連続量の数値化から発生する小数・分数と加減乗除の構造の理解 ・実践的な授業づくりについての自分の考えを持ち、再構成レポートや課題レポートを作成する。	○	◎	◎	○	○	△
21119	教職科目	理科教材研究	山田 吉英,三好 雅也,西沢 徹,小林 和雄	「学生の目標」を参照	生徒主体、探究的な理科授業を行うことができる	○	◎	◎	△		◎
21123	教職科目	理科教材研究	山田 吉英,三好 雅也,西沢 徹,小林 和雄	「学生の目標」を参照	生徒主体、探究的な理科授業を行うことができる	○	◎	◎	△		◎
21132	教職科目	理科教材研究	山田 吉英,三好 雅也,西沢 徹,小林 和雄	「学生の目標」を参照	生徒主体、探究的な理科授業を行うことができる	○	◎	◎	△		◎
21124	教職科目	音楽教材研究	八代 健志	音楽科教材の何が最も重要なのかを考え、制作できる能力を身につける。 リコーダー指導に関する、知識と教材の考え方、指導法をつかむ。	復習を充実させる事。授業内容をリコーダーを吹いてみて、自分なりに把握するように努力を怠らないこと。	○	○	◎	○		
21133	教職科目	音楽教材研究	吉村 治広	音楽科教育における教材の重要性を踏まえ、学習を構成できる能力を身につける。	音楽的な知覚と感受を基盤とする音楽科の指導内容と方法を理解し、多様な学習活動に具体化することができる。	○	◎	◎	○		
21126	教職科目	体育教材研究	宗倉 啓,水沢 利栄,稲垣 良介	体育授業に関するこれまでの体験内容を総括したうえで、指導者としての素材解釈、指導方法、教材づくりのあり方について理解する。	指導者の立場から体育教材の解釈、構造ならびに体育教材と児童との関係について理解を深める。			◎	○	○	
21135	教職科目	体育教材研究	宗倉 啓,水沢 利栄,稲垣 良介	体育授業に関するこれまでの体験内容を総括したうえで、指導者としての素材解釈、指導方法、教材づくりのあり方について理解する。	指導者の立場から体育教材の解釈、構造ならびに体育教材と児童との関係について理解を深める。			◎	○	○	
21265	教職科目	外国語活動教育法	大下 邦幸,上野 澄子	小学校での外国語活動実施に伴い、小学校での外国語活動の指導のあり方を、理論面と実践面から教授する。	・外国語活動のねらいを理解する。 ・外国語活動の指導原理や指導法を理解する。 ・小学校教員による外国語活動の実践に触れる中で、指導法について理解を深める。			1◎ 2◎ 3◎		3◎	
21151	教職科目	英語科教育法Ⅰ	伊達 正起	「学生の目標」を参照	この授業を受講することによって学生は、英語科教育に関わる諸相(英語教授法、教科書、学習指導要領等)について学習し、その結果、英語科教育に関する知識を得ることができる。さらに、グループによる模擬授業を行うことで、将来教師になった時に(教育実習に行った時に)教科書に書かれている教授法をどのように工夫しながら使えばよいのか考えることができるようになる。	2◎		1◎ 2◎		1◎ 2◎	
21152	教職科目	英語科教育法Ⅱ	大下 邦幸	英語科教育の方法について学ぶ。特に、言語材料の指導、4技能の指導、コミュニケーション能力の育成のあり方について学ぶ。	・発音、文字、語彙、文法の指導法について学習する。 ・4技能の指導法について学習する。 ・コミュニケーション能力の養成に必要な指導法を学習する。			1◎ 2◎ 3◎		1◎ 2◎ 3◎	
21153	教職科目	英語科教育講義Ⅰ(英語習得論)	伊達 正起	「学生の目標」を参照	この授業を受講することによって学生は、第二言語習得に関わる諸相(モニターモデル・中間言語理論・言語の普遍的特性・文化変容(ビジン化)理論・認知理論等)について学習し、その結果、第二言語習得のメカニズムについて知識を得ることができる。さらに、発表後の講義では、英語教師としての立場に立ったうえで意見や学生に求めることで、教科書に書かれている理論を将来英語教師になった時に実践面でどのように応用して使うのかを考えることができるようになる。	2◎		1◎ 2◎		1◎ 2◎	
21154	教職科目	英語科教育講義Ⅱ(英語運用論)	大下 邦幸	Krashen等が提唱したThe Natural Approachは、第2言語習得理論に大きな影響を与えた。この理論について学ぶ中で、コミュニケーション能力はどのように身につくのかを理解すると共に、英語授業における英語使用の意義やそのための効果的な指導法について学ぶ。	・The Natural Approachの理論を理解する。 ・The Natural Approachの理論をどのように授業に応用したらよいかを考える。	2◎		1◎ 2◎		1◎ 2◎	
21155	教職科目	英語科教育演習Ⅰ	伊達 正起	「学生の目標」を参照	この授業を受講することによって学生は、第二言語習得に関わる諸相を考慮に入れた上での英語指導法について学習し、その結果、英語を指導する上で重要な点についての知識を得ることができる。さらに、教科書の内容に関するレポート作成、及びレポートを基にしたグループ討議と全体討議を行うことで、教科書で書かれている理論を将来教師になった時に実践面でどのように応用して使うのかを考えることができるようになる。	2◎		1◎ 2◎		1◎ 2◎	
21156	教職科目	英語科教育演習Ⅱ	大下 邦幸	コミュニケーション能力を育成する上で鍵になるコンセプトに焦点を当て、論文講読とディスカッションによって、そのコンセプトについての理解を深める中で、コミュニケーション能力養成の方法について学習する。	コミュニケーション能力養成を行う上で、理解しておかなければならない基本的なコンセプトや教授法について学習し、理解を深める。			◎		○	
21158	教職科目	数学教育序論	伊禮 三之,山野下 とよ子	① 小学校算数から中高までの数学の理念的なカリキュラムの流れを概観し、一貫カリキュラムについての理解を図る。 ② これまでの算数・数学の内容を「帰りの目」で見直し、もう一度教え手の視点から算数・数学を再構成し、数学全般についての理解を深める。	① 小学校算数から中高までの数学の理念的なカリキュラムの流れを概観し、自分の学んできた算数・数学を一貫カリキュラムに位置づけて、これまでの算数・数学についての理解を深める。 ② これまでの算数・数学の内容を、もう一度教える立場から再構成し、「帰りの目」で算数・数学を見直す視点を獲得する。	○	◎	◎	○	○	△
21159	教職科目	数学科教育法Ⅰ	風間 寛司	ア 中学校数学科教師として、どのような「数学科の学力」を生徒に身に付けるべきか。公教育としての要請を十分に理解する。 イ 中学校数学科教師として、「学校数学の教科書を読む」能力と技能の基礎を培う。 ウ 中学校数学科教師として、特定の題材について「数学科学習指導案の構想」を立案する能力と技能の基礎を培う。 エ 中学校数学科教師として、作成した学習指導案をもとに、「生徒の反応をしっかりと見取った教授＝学習活動」を進めるための視点のいくつかを知る	数学科教育の基本的な事項に関する文献や基本的な実践記録の分析等を通して、数学科教育の現状や実践上の課題及び研究上の問題意識を明確にしていくこと。特に、TIMSSやPISAなどの国際的な動向をも視野に入れること。	○	◎	◎	○	○	△
21160	教職科目	数学科教育法Ⅱ	伊禮 三之,青木 慎恵	① 国際調査から見る日本の数学科教育の現状と課題についての理解を図る。 ② 具体的なカリキュラムの開発事例についての省察を通して、授業づくりについての理解を深める。 ③ さまざまな楽しい授業の追体験によって、数学科教育の改善の方向性についての理解を図る。 ④ RLAによる活動を通して、教育方法の工夫についての知見を広げる。	① 国際調査や日々の数学の授業から浮かぶ数学科教育の現状と課題について理解する。 ② 具体的な教材開発の事例を通して、授業づくりについての知見を広げる。 ③ 数学の世界と現実の世界の往還を通して、数学の有用性や楽しさ・おもしろさを実感し、数学科教育の改善の方向性について理解する。 ④ RLAによる活動事例から、教育内容とともに教育方法についての工夫を知る。	○	◎	◎	○	○	△

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学識形成の足跡を示す学習成果の公開
21229	教職科目	数学科教育法特講	風間 寛司	① 教育実習の経験を省察し、学校数学のカリキュラムから単元を見据えた教材研究を行い、その成果を指導案として立案することができる実践的な力量形成を培う。 ② 教材研究・教材開発の過程から、実践記録の分析や先行研究のレビューの方法を学ぶ。 ③ 卒業研究の素材を提供する。	① 授業づくりを通して、先行研究や先行実践、関連資料の検索方法を学ぶ。 ② 模擬授業を通して、教師の実践的思考様式のあり方を学ぶ。 ③ 卒業研究のテーマを探索する。	◎	◎	◎	○	○	△
21163	教職科目	数学教育特殊講義A	伊禮 三之	数学的活動は、まず、現実世界の課題から本質的な要素と関係を抜き出して、数学の問題に定式化し、これを定理などの数学的技法を用いて解いて、数学の世界での解を求め、その解を再び現実世界に戻して解釈し、最初の課題の解決とする。つまり、直接解決するのではなく、数学の世界のまわり道を経て解決するという特色がある。この講義では、身近な課題やパズルなどをトピック的に取り上げ、数学は計算術であるという通念に對置するような、数学的活動の楽しさやおもしろさを伝え、数学的リテラシーを形成する授業作りについて考察する。	数学は、「考える」ことそのものを楽しむやおもしろさがある。授業で取り上げるテーマ・内容はそのための素材である。主体的に「考える」ことを通じて、数学的活動の楽しさやおもしろさを実感できるように積極的に講義に参加し、数学的活動による授業作りの実際を学ぶこと。	○	◎	◎	○	○	△
21163	教職科目	数学教育特殊講義B	伊禮 三之			○	○	◎	○	○	△
21212	教職科目	数学教育演習Ⅰ	風間 寛司	OECDのPISA調査やIEAのTIMSS調査など学力の国際比較は、数学的リテラシーなど21世紀に求められる「学力」について、再検討の必要性を提起している。こうした諸能力を育むには学習指導の改善が課題であり、そのための授業研究が求められている。本演習では、学習指導の改善のための授業研究の在り方について、算数・数学の授業並びにその授業研究への参与観察とその分析・検討を通して学ぶ。	授業研究は、教材研究から得られた学習指導案(意図した授業)と実際の授業との間にある広がりや学習者が身に付けた学力を、授業者の観点や学習者の視点、あるいは参観者の観点などから複眼的に分析することで、授業の改善を図ることを目的としています。こうした授業研究に積極的に参加することで、授業力の育成につなげていく。	○	◎	◎	○	○	△
21213	教職科目	数学教育演習Ⅱ	風間 寛司	OECDのPISA調査やIEAのTIMSS調査など学力の国際比較は、数学的リテラシーなど21世紀に求められる「学力」について、再検討の必要性を提起している。こうした数学的リテラシーなどを育むためには学習指導の改善が課題となる。そのためには授業研究とそれに基づく授業改善が求められている。本演習では、そうした学習指導の改善のための授業研究のあり方について、学校現場の算数・数学の授業とその授業研究への参与観察とその分析・検討を通して学ぶ。	授業研究は、教材研究から得られた学習指導案(意図した授業)と実際の授業との間にある広がりや、授業者の観点や学習者の視点、あるいは参観者の観点などから複眼的に分析することで、授業の改善を図ることを目的としています。こうした授業研究に積極的に参加することで、授業力の育成につなげていく。	○	◎	◎	○	○	△
21164	教職科目	理科教育法Ⅰ	小林 和雄,山田 吉英	・教育実習を想定した授業計画、予備実験、模擬授業を一通り経験する。	○理科専攻の仲間と、授業づくりと学習内容について批判的協働的に学ぶ。 ○授業の準備において、観察実験道具の準備や安全で適切な生徒実験の指導技能を身につける。 ○学習内容を深く理解し、生徒の視点から、授業構成について考える。	○	◎	◎	△	△	○
21165	教職科目	理科教育法Ⅱ	山田 吉英,小林 和雄	・教育実習を想定した授業計画、予備実験、模擬授業を一通り経験する。	○理科専攻の仲間と、授業づくりと学習内容について批判的協働的に学ぶ。 ○授業の準備において、観察実験道具の準備や安全で適切な生徒実験の指導技能を身につける。 ○学習内容を深く理解し、生徒の視点から、授業構成について考える。	○	◎	◎	△	△	○
21166	教職科目	理科教育概論	山田 吉英	「学生の目標」を参照	協働的・探究的な物理学の学習方法を身につけること。 「科学を理解する」ということの真意を理解すること。	○		◎			◎
21167	教職科目	理科教材研究特講Ⅰ	小林 和雄,山田 吉英	学生の目標参照	理科教育に関連する様々な研究動向について、学生の教育実習や学生が参観した授業などつなげて理解する。	◎	◎	△	△	○	
21168	教職科目	理科教材研究特講Ⅱ	小林 和雄,山田 吉英	学生の目標参照	理科教育に関連する社会的構成主義や教育方法学に関する様々な研究動向について理解する。	◎	◎	△	△	○	
21169	教職科目	理科教育演習	小林 和雄,山田 吉英	学生の目標参照	理科教育に関連する様々な研究動向について、学生の教育実習や学生が参観した授業などつなげて理解する。	◎	◎	○	◎	◎	
21170	教職科目	理科教材研究特講Ⅲ	山田 吉英	科学教育に関わる現状や課題を知り、学校教育における科学教育のあり方についての考えを深める。	理科の授業をデザインするための基本的知識を学び、児童生徒が学ぶ理科授業を目指し学び続ける姿勢を持つ。 自らの科学的探究の経験と関連させながら、自分の科学教育論を持つ。	◎	◎	◎			
21171	教職科目	音楽科教育法Ⅰ	八代 健志	音楽の根源的な意味の検討から始め、学校教育における音楽教育の意義を追究する。	予習90分、と復習90分を費やして行なうこと。出来るだけ多くの本を読み、音楽教育に関わるありとあらゆる事項に興味を示すように努める事。	◎		◎			○
21172	教職科目	音楽科教育法Ⅱ	吉村 治広	中学校音楽科および高等学校芸術科音楽の指導法について、理論と実践の両面から理解する。	1、中学校・高等学校における音楽科の指導内容と学習の構造を理解する。 2、学習指導案作成に必要な知識を習得し、実践的な指導に生かす。	(1)○	(2)◎	(1)◎			
21175	教職科目	音楽科教育法特別演習	吉村 治広,八代 健志	卒業研究への準備を通して、音楽科教育の内容と方法に関する理解を深める。	卒業研究の具体的なイメージを持ち、卒業研究のテーマや構成の具体化に向けて取り組むことを通じて、音楽科教育に対する理解を一層深める。	○	○	◎			◎
21219	教職科目	音楽科教育法演習Ⅰ	吉村 治広	音楽的な知覚と感受に基盤をおく学習を、子どもの興味・関心に配慮しながら構成する経験を通して、新しい音楽科の授業づくりについて考える。	1、学習としての鑑賞の指導法について理解する。 2、実践事例の検討を通して課題を見つけ、追究する。 3、子どもの実態に即した実践的な授業案を作成する。	(1)○	(2)◎ (3)◎	(1)○ (2)○		(3)○	(3)○
21216	教職科目	音楽科教育法演習Ⅱ	八代 健志	卒業研究に向けて、研究準備を行う。	卒業研究に向けて、テーマを絞り、論文の書き方を身につける。	○		○			◎
21176	教職科目	美術科教育法Ⅰ	濱口 由美	文献研究(アイズナー・ローウェンフェルド・学習指導要領等)・事例研究(日本・フィンランド・中国・イタリアにおける幼児期から中等教育までの実践事例)等を通して、美術科教育の存在意義を多面的に検討することができる。	美術教育研究の基礎的な理論を読み解き、批評的に検討することができる。 優れた実践報告を読んだり聞いたりし、基礎的理論と重ねあわせながら、美術教育の理念を捉え直すことができる。 美術科教育の存在意義について、自らの言葉で語る事ができる。	(1)○	(2)○	(1)○ (2)○	(1)◎ (2)◎	(1)○ (2)○	(3)◎
21178	教職科目	美術科教育法Ⅲ	濱口 由美	美術教育の歴史、理論、実践、などに関連する研究にふれることで、課題意識を啓発し、研究の方向や目的によって様々な方法があることを理解し、研究的な視点を持つ。 教育実習の経験を踏まえて、美術教育の諸問題から各自の現実的テーマを設定し、関連する先行研究、文献等の講読を通して、自らの課題をより具体的に捉え直し、資料や調査等に基づいて検討を行いレポートにまとめる。	美術教育のなかで、自ら関心のある事象について資料収集するなど調査に基づいて探求する態度を養う。	(2)◎	(3)○	(1)○ (2)◎ (3)◎	(1)○ (2)○ (3)○	(1)○ (2)○ (3)○	(3)◎

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項						
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援することができる	6. 学業成果の公開	
21179	教職科目	美術科教育法演習	濱口 由美	地域の学校や美術館、海外の学校における実践に参画していく鑑賞学習実践プロジェクトに取り組み、鑑賞学習の可能性を探る。 鑑賞学習実践プロジェクトを通して、創造的な鑑賞活動に取り組む子どもの学習プロセスを理解する。	プロジェクト学習の中で次のようなパフォーマンス課題に取り組み、鑑賞学習を発展させていく実践力と子どもたちの学習プロセスを省察的に批評できる評価力を身に付ける。 ○小学生の鑑賞能力を育むことのできる院展鑑賞ワークシートを作成する。 ○上海と日本の子どもたちの作品交流の場をつくりだすカリキュラムの開発と実践に取り組む。 ○学生作品を活用した対話による鑑賞学習の開発と実践に取り組む。	(2)○	(1)○ (2)○ (3)◎	(1)○ (2)○ (3)◎	(2)○	(2)◎ (3)○	(2)○ (3)◎	
21182	教職科目	保健体育科教育法 I	稲垣 良介	学校教育課程における保健体育科教育の目的・目標からみた学習内容ならび指導方法を系統的に把握するとともに、他教科の学習内容や教科外活動さらには地域活動との関連について学習する。	これまでの保健体育科における学習指導について整理し理解するとともに、対象となる児童・生徒の現状を把握し、実践的な学習指導ができるように、内容の系統性を考慮した学習指導計画を立案できるようになる。		○	◎		○		
21183	教職科目	保健体育科教育法 II	宗倉 啓	保健体育科教育の歴史的経緯、教科内容の精選、教材づくりの意味と方法、教授－学習過程の組織化、学習者のつまずき、教授スキルの内容と方法について論ずる。	1. 問題の所在を的確に押さえる 2. 問題の背景を分析する 3. 問題の解決方法を定める 4. 実践における理論の果たす役割と意義を理解する	1◎ 3◎	2◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	
21184	教職科目	実践保健体育科教育特論	宗倉 啓 吉田 隆 片山 正徳	カリキュラムポリシーにあるように、実践的で専門性の高い体育教師をめざし、学校教育現場で直面している保健体育科教育の具体的な課題を取りあげ、その背景について調査・分析・討議し、問題解決の方法を模索する。	受講生自身が教育実習で直面した問題点や、学校教育現場で直面している課題について、具体的な解決方法を提案するため、以下の学習手順を踏むこと。 1. 問題の所在を把握する 2. 問題の背景を分析する 3. 問題解決の方向性を定める 4. 問題解決のための必要条件を整理する	1◎ 3◎	2◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	
21300	教職科目	低学年自然	小林 和雄, 山田 吉英	学生の目標参照	幼稚園において「児童の自然との関わり」の充実させ、質の高い「気づきを生み出すための視座」を作り出す。	○	○	◎	△	◎	○	
21301	教職科目	低学年音楽	吉村 治広, 八代 健志	子どもの実態を知るとともに、幼小連携を視野に低学年対象の音楽指導の在り方を追究する。	1. 低学年指導における学習の在り方を理解する。 2. 幼児の音楽発表から、その表現の実態を知る。	(2)○	(1)◎	(1)◎	(2)○	(1)○ (2)○		
21302	教職科目	低学年図画工作	濱口 由美	幼児の造形内容や技法、造形活動の発達過程を理解する。 作品制作を通して実践的な知識、技能を修得する。	・幼児期特有の造形表現と発達について理解する。 ・幼児の自発的な表現意欲が生まれる造形題材を開発する。	(2)○ (3)◎	(1)◎ (2)○ (3)○	(3)○	(1)○ (2)◎ (3)○	(3)◎		
25050	特別プログラム科目	学校－コミュニティ共生	伊藤 勇岸 俊行, 田中 志敬	学校と地域・コミュニティとの連携について、実地調査も含めて、現実的な理解を得る。	学校と地域・コミュニティとの連携や共同の意義を理解し、みずからも実践に関わっていくこととする態度を培う。	◎	○		○	△	◎	
21531	教科専門科目 (小学校教科)	理科実験観察法	栗原 一嘉, 中田 隆二, 大山 利夫, 山本博文, 浅原 雅浩, 山田吉英, 三好 雅也, 西沢徹, 小林 和雄	本授業は、理科以外の教科を専門とする学生を対象に、安全指導・顕微鏡や水溶液の扱い方など、基本的な実験を経験し技能を高めることを主な目的としている。内容は、各担当者が主に小学校理科の内容に合わせて検討し、学生実験を中心としてそれぞれの実験室で行い、学生自ら科学を経験することを主眼としている。また、デジタルコンテンツや地域の科学館・博物館等の活用方法についても習得する。	小学校の理科の授業の中で扱われる実験・観察を安全に指導するための知識と技術を修得する。 地域の科学館及び博物館等について理解を深める。	(1)○ (2)○	(1)○ (2)◎	(1)◎ (2)◎	(1)○ (2)○	(1)△ (2)△		
21501	教職科目	家庭基礎実習	竹内 恵子, 村上 亜由美, 服部 由美子	生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術について、科学的見地にもとづいて考える。竹内恵子:児童虐待について総論的に解説する。 村上亜由美:食品中の栄養素の働き及び基礎的な調理と食品衛生について解説する。 服部由美子:服部の役割と機能について解説する。	保入学、被服学、食物学の各分野について、生活に必要な基礎的・基本的な知識および技能を習得する。	○		◎		◎		
21502	教科専門科目 (小学校教科)	音楽実習A	吉村 治広	演奏における困難を体験することを通して、効果的な支援のあり方を追究する態度を養う。また、学習指導に必要となる音楽理論を身に付ける。	1. 基礎的な音楽理論を理解する。 2. 視唱力や記譜力、リズム演奏・創作の能力を高める。	◎	○	○				
21523	教科専門科目 (小学校教科)	音楽実習B	八代 健志	学習指導要領にある「共通事項」の内容とその応用を演習を通して理解する。	授業準備として必要な、読譜、リコーダー、コードネームについての基礎的な知識を身に付ける。	◎	○	○	○	◎		
21508	教科専門科目 (小学校教科)	図画工作実習A	湊 七雄, 濱口 由美	図画工作を担当する上で必要とされる基本的な資質や能力を養います。 作品制作や造形遊びや鑑賞学習の事例研究を通して、子どもの発達と教育内容を関連付けて、教材を設定したり解釈したりする力を身に付けます。	図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。	○		○		◎		
21528	教科専門科目 (小学校教科)	図画工作実習A	湊 七雄, 濱口 由美	図画工作を担当する上で必要とされる基本的な資質や能力を養います。 作品制作や造形遊びや鑑賞学習の事例研究を通して、子どもの発達と教育内容を関連付けて、教材を設定したり解釈したりする力を身に付けます。	図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。	○		○		◎		
21510	教科専門科目 (小学校教科)	体育実習A	山田 孝禎, 田中 秀一, 水沢 利栄, 片山 正徳	小学校体育の運動領域における「陸上運動」、「器械運動」、「水泳」に関わる基礎知識を理解し、技能を向上させることができるようになる。	小学校体育において、陸上運動、器械運動、水泳を指導することができる基礎的な知識と方法を、実践を通して習得します。	○		○	○	○	△	
21511	教科専門科目 (小学校教科)	体育実習B	水沢 利栄, 栗原 美幸, 片山 正徳	小学校の体育の授業で扱われるボール運動、体つくり運動、表現運動について理解を深め、実際に授業が展開できる知識と基本的な指導法を習得する。また、簡単なゲームの方法や小学校の体育の授業を取り巻く問題点に関する知識を習得する。	小学校の体育の授業に必要な基礎的な知識と指導法について身に付け、実際の授業が担当できる基礎的な力を身に付ける。	◎	◎	○	○	○	△	
21513	教科専門科目 (小学校教科)	教科社会基礎	門井 直哉, 木村 亮, 清水 泰幸, 長谷川 裕子, 山根 清志	現在我々が使っている貨幣とはどのようなものかを学んだうえで、貨幣を用いる経済活動の特徴と現状について学ぶ(木村)。現在の歴史学研究における歴史像と教科書にみえる歴史像とを比較・検討する(長谷川)。日本の自然、文化に関する基礎的事項を学ぶ(門井)。介護保険制度と成年後見制度を中心に、高齢社会を支える方の仕組みを概観する(清水)。福沢の実像に迫るにはどうすべきか、彼の最も有名な著作を中心に考えてみる(山根)。	小学生にお金を用いた経済活動のルールや実態を教える際に教える側として最低限必要な知識を身に付ける(木村)。歴史認識は、時代や社会状況によって変化することを確認し、現在の通説ですら変更可能である歴史研究の視角の多様性を理解する(長谷川)。自然・文化の両側面から日本の特色を理解する(門井)。高齢に伴い心身の能力が減退して行くが、社会で自立的に生活するためにはどのような法的サポートが必要なのか、その概略を理解する(清水)。書かれたものを騙されないように読み取ることが容易くないことを事例によって示してみたい(山根)。	○		◎				
21514	教科専門科目 (小学校教科)	教科算数基礎	山野下 とよ子	小学校算数の「量」や「数」「数量関係」「空間と図形」などの基礎・基本の概念理解を図る。子どもたちのつまずきや疑問から「なぜ？」を考え、現実の世界と算数数学の抽象世界をつないでいく算数教育についての認識を深める	教えられる立場から教える教師の目線で積極的に自分から追究していく。1回ごとの講義内容はまとまっているが、すべての内容が繋がっているため、毎回出席しないとつながりが見えてこない。算数の背後にある数学的概念は決してやさしくはないので、研究・吟味し、これからの算数教育の見解を作っていく。	○		◎	○	○	△	
21520	教科専門科目 (小学校教科)	教科算数基礎	山野下 とよ子	小学校算数の「量」や「数」「数量関係」「空間と図形」などの基礎・基本の概念理解を図る。子どもたちのつまずきや疑問から「なぜ？」を考え、現実の世界と算数数学の抽象世界をつないでいく算数教育についての認識を深める	教えられる立場から教える教師の目線で積極的に自分から追究していく。1回ごとの講義内容はまとまっているが、すべての内容が繋がっているため、毎回出席しないとつながりが見えてこない。算数の背後にある数学的概念は決してやさしくはないので、研究・吟味し、これからの算数教育の見解を作っていく。	○		◎	○	○	△	

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項										
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開					
21516	教科専門科目 (小学校教科)	教科保健基礎	戎 利光	肥満・骨折・貧血・生活習慣病・ストレス・朝食抜き・食物アレルギー・偏食・無理なダイエット・生活習慣の乱れ・交通事故と水難事故・テレビゲーム・不器用・虫歯・喫煙など、子どもの健康問題について幅広く論ずる。	(1)最近の子どもの全般的な健康問題を科学的に理解する。 (2)それぞれの健康問題の原因や予防法などを生理学的に習得する。						(1)○			(2)○		
21532	教科専門科目 (小学校教科)	家庭基礎概論	竹内 恵子,村上 亜由美,服部 由美子	生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術について、科学的見地にもとづいて考える。 竹内恵子:児童虐待について総論的に解説する。 村上亜由美:食品中の栄養素の働き及び基礎的な調理と食品衛生について解説する。 服部由美子:服部の役割と機能について解説する。	保育学、被服学、食物学の各分野について、生活に必要な基礎的・基本的な知識および技能を習得する。	○		◎						◎		
22040	教科専門科目 (中学校教科 国語)	漢文学概論	澤崎 久和	漢文学の対象となる作品の歴史は古く、範囲は広い。また作品量も膨大である。本授業では中国の古典文学作品の中から、わが国において古くから親しまれてきた詩(漢詩)についてその歴史のあらましを知り、唐詩を代表とする近体詩の格律(近体詩を作る上でのさまざまな約束ごと)について基本的な知識を得、独力で詩を詠写・鑑賞し、かつ一定の準備の下に漢詩を創作することが可能となることを目標とする。	漢文の重要領域である漢詩(中国古典詩)の歴史とその仕組みについて理解を得、五言絶句・七言絶句について実際に創作できるようになること、またそれを的確に詠写できるようにすることを目標とする。			○		◎					○	
22041	教科専門科目 (中学校教科 国語)	漢文学講義Ⅰ	澤崎 久和	白居易(あざな楽天)の詩文集である『白氏文集』は平安時代にわが国にもたらされて以来、長く日本人に親しまれてきており、和歌や物語・謡曲等にも大きな影響を与えてきた。漢文教科書にもその幾首かはかならず収められている。本授業では、白居易の詩を取り上げ、漢詩の詠写力・鑑賞力を養うとともに、漢文を学ぶ上での基礎知識を習得することを目標とする。	漢詩を正確に詠写する力を養い、そのための基礎知識を身につける。 作品に含まれる諸問題について自ら課題を設定し、先行研究を咀嚼したうえで、資料に基づいた議論を行い、小論文を作成する。			○		◎					○	
22042	教科専門科目 (中学校教科 国語)	漢文学講義Ⅱ	永井 崇弘	中国語学およびその周辺に関する基礎知識を習得し、これまでの中国語学習や漢文学習に対する理論づけを行います。	この授業の受講により、中国学、中国語学の基礎的な知識を修得することができます。また、この授業で修得した知識により、これまで学んだ中国語や漢文に対してより深い理解を得ることができます。	○				◎						
22043	教科専門科目 (中学校教科 国語)	漢文学演習Ⅰ	澤崎 久和	漢文教材のうち、唐詩を詠む力をつけることを目標とする。あわせて、古人が唐詩に漢文でほどこした注釈を読み解き、散文の読解力をつけることを目標とする。	訓点のうち、返り点のみを施した漢詩・漢文を、辞書を引く資料に当たることによって詠写する力をつける。 作品中の問題点を見出し、先行研究を参照しつつ、レポートを作成する力をつける。			○		◎					○	
22044	教科専門科目 (中学校教科 国語)	漢文学演習Ⅱ	澤崎 久和	中国古典文学のうち、志怪小説・伝奇小説と呼ばれる小説作品について理解を深めるとともに、訓点で施されていない漢文の詠写に習熟することを目標とする。さらに、志怪・伝奇小説が後世の中国文学のみならず、わが国の古典文学や近代文学にも及ぼした影響について検討する。	先人による注釈がほとんどない作品を取り上げることにより、訓点の施されない漢文(白文)を読み解く力を養うとともに、古典時代の中国における人々の思考や感情、生活と人生について豊かな知識を得、さらにこれらの作品が後世の詩文やわが国の文学にどのような影響を与えたのかについても知ることを目標とする。			○		◎						
22045	教科専門科目 (中学校教科 国語)	漢文学特殊講義	澤崎 久和	中国古典文学のうち白居易の諸作品およびこれに影響を受けた北宋の作品を精読し、これらに関する先行研究を検討することにより、そこに課題と問題点を見出す。	中国古典文学の諸作品のうち、唐詩を正確に読み解く力を身につけるとともに、研究の方法を学ぶ。あわせて、取り上げた作品に含まれる詩表現上の特色とその文学史的な意義について理解を深める。			○		◎					○	
22200	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学講義Ⅰ(英語 音声学)	中村 太一	英語の音声について理論的・実践的に学ぶ。日本語と英語の調音方法の違いを理解し、英語音声の適切な発音と聞き取りを身に付ける。	英語の各音声や音声変化の諸特徴とそれら発音方法や仕組みを理解できるようになる。また、英語の適切な発音と聞き取りができるようになる。	○				◎						
22201	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学講義Ⅱ(英文 法)	中村 太一	英文法を基本から解説し、将来の発展的学習の土台を築く。演習問題や英文の詠写を通して、基本的文法事項の再確認と定着を図る。	英文法理解のための用語・概念等を把握し、得られた知識を用いて英文の分析を行えるようになる。	○				◎						
22202	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学講義Ⅲ(英語 史)	中村 太一	英語の変化を様々な側面から概観する。英語史には英語を取り巻く社会の歴史(外面史)とことばの中身の歴史(内面史)がある。本講義では後者の内面史に特に焦点を当て、なぜ、どのようにことばが変化したのかを考察する。	英語の内面史について、なぜ、どのように変化したのかを理解する。またこれに伴い、内面史の変化に深く関連する外面史についての知識を得る。	○				◎						
22203	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学講義Ⅳ(日英 対照言語学)	皆島 博	この授業では日本語と英語の対照言語学的な研究を行います。	(1)日本語と英語を対照研究するとはどういうことか学ぶ。 (2)認知意味論の基礎的な考え方(カテゴリー、メタファー、メトニミーなど)を学ぶ。 (3)単語の多義性とは何か学ぶ。 (4)単語の意味拡張とは何か学ぶ。										(1)◎ (2)○ (3)○ (4)○	
22204	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学講義Ⅰ(英語 語彙論)	中村 太一	英語において動詞の意味が文形成にどのように反映されているのか、言語獲得の観点から考察する。	動詞の意味がどのように獲得され、どのように文形成に反映されるのかについて理解を深め、得られた知識を用いて自ら分析を行えるようになる。また、比較的平易な英語で書かれた専門論文を読む力をつける。	○				◎						
22205	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学講義Ⅱ(現代 英文法論)	館 清隆	生成文法理論の枠組みを理解し、英語の個別的な現象の分析を行う。	言語理論の理解と、英語及び日本語の特定の現象の分析を行う。					◎						
22208	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学演習Ⅰ	中村 太一	現代言語学の観点から英語統語論を学ぶ。また、分析で用いられている基本概念や論証方法を考察し、その背後にある思考法を理解する。さらに、英語で書かれた専門書を詠写し、内容を要約し、プレゼンテーションを行う方法を身に付ける。	現代言語学で用いられている基本概念や論証方法を考察し、その背後にある思考法を理解する。また、英語で書かれた専門書を詠写し、内容を要約し、プレゼンテーションを行う方法を身に付ける。	○				◎						
22209	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英語学演習Ⅱ	中村 太一	英語統語論を学び、英語の基本的文法現象の分析方法を身に付ける。また、分析対象となる英語構文についてより深い理解を得ることを目標とする。さらに、英語で書かれた専門書を詠写し、内容を要約し、プレゼンテーションを行う方法を身に付ける。	生成文法理論に基づいた統語分析の概要を把握し、得られた知識を用いて英語構文の分析を行えるようになる。また、英語で書かれた専門書を詠写し、内容を要約し、プレゼンテーションする方法を身に付ける。	○				◎						
22241	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英会話Ⅱ(中級英会 話)	伊達 正起	This class is intended for students who have already reached a reasonable level of English and are looking for more of a challenge than a basic course can provide. Students will be required to work hard to improve their English skills and should be prepared to make greater efforts than in a regular English class. In particular, students will be expected to prepare a news topic each week and discuss it with other members of the class. In addition, homework assignments will be given after every class.	Students are urged to speak out and share their opinions with other members of their group.			◎						○		
22242	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英会話Ⅲ(上級英会 話)	伊達 正起	This class is intended for students who have already reached a reasonable level of English and are looking for more of a challenge than a basic course can provide. Students will be required to work hard to improve their English skills and should be prepared to make greater efforts than in a regular English class. In particular, students will be expected to prepare a news topic each week and discuss it with other members of the class. In addition, homework assignments will be given after every class.	Students are urged to speak out and share their opinions with other members of their group.			◎						○		
22245	教科専門科目 (中学校教科 英語)	英作文Ⅰ(中級英作 文)	伊達 正起	This class is intended for students who have already reached a reasonable level of English and are looking for more of a challenge than a basic course can provide. In particular, students will be expected to actively discuss a variety of topics and exchange opinions with other class members. In addition, homework assignments will be given after every class.	Students are encouraged to actively engage in voicing their opinions by means of group discussions.			◎						○		

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援することができる。	6. 学識形成の足跡を示す学習成果の公開
22246	教科専門科目 (中学校教科英語)	英作文Ⅱ(中級英作文)	伊達 正起	This class is intended for students who have already reached a reasonable level of English and are looking for more of a challenge than a basic course can provide. In particular, students will be expected to actively discuss a variety of topics and exchange opinions with other class members. In addition, homework assignments will be given after every class.	Students are encouraged to actively engage in voicing their opinions by means of group discussions.	◎				○	
22250	教科専門科目 (中学校教科英語)	英語総合実践演習	伊達 正起 英語サブコース全教員	英語集中演習で英語漬けの生活と活動を行うことで、英語を使うことに対する不安を和らげると共に積極的に英語でコミュニケーションをしようとする態度と英語学習への動機を高める。	2泊3日の間、英語のみを使用しながら生活することを目標とする。準備してきたグループ活動の発表を行う。	2○			1△		
22253	教科専門科目 (中学校教科英語)	英語総合実践演習Ⅰ	伊達 正起 英語サブコース全教員	英語集中演習で英語漬けの生活と活動を行うことで、英語を使うことに対する不安を和らげると共に積極的に英語でコミュニケーションをしようとする態度と英語学習への動機を高める。	2泊3日の間、英語のみを使用しながら生活することを目標とする。準備してきたグループ活動の発表を行う。	2○			1△		
22255	教科専門科目 (中学校教科英語)	英語総合実践演習Ⅱ	伊達 正起	「学生の目標」を参照	6週間、英語のみを使用しながら生活することを目標とする。英語集中演習で英語漬けの生活と活動を行うことで、積極的に英語でコミュニケーションをしようとする態度だけでなく、コミュニケーション能力を育成する。異文化を体験することを通じて日本文化と比較をしながら異文化理解に関する知見を広げる。	3◎			3○	1△	2○
22262	教科専門科目 (中学校教科英語)	比較文化Ⅰ	伊達 正起	「学生の目標」を参照	この授業を受講することによって学生は、「異文化間のコミュニケーション」について学習し、その結果、日本文化と外国文化の相違点と類似点についての知識を得ることができる。さらに、自分達が興味のある外国について(特にその国の文化に焦点をあて)調べプレゼンテーションすることを通して、教科書で扱う以外の国についての知識をクラス全体で共有することができる。そして、クラス全体で英語教育の視点から異文化理解について討議する機会を持つことで、異文化理解に関わる要因を単なる情報として捉えるだけでなく、そのような情報をどのように英語指導に生かすのか考えることができるようになる。	3◎ 4◎			1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1○ 2○	
22407	教科専門科目 (中学校教科数学)	線形代数Ⅰ	朝倉 相一	連立方程式の概念は、線形代数の中核をなすものですが、ここでの課題は連立方程式について代数的側面と幾何学的側面の両方から学ぶことです。	授業は学生の理解が得られるようにじっくりと進めますので、学習事項の一つ一つを別のものとして学ぶのではなく系統立てて理解するようにしましょう。				◎		
22408	教科専門科目 (中学校教科数学)	線形代数演習Ⅰ	朝倉 相一	連立方程式の概念は、線形代数の中核をなすものですが、ここでの課題は連立方程式について代数的側面と幾何学的側面の両方から学ぶことです。	授業は学生の理解が得られるようにじっくりと進めますので、学習事項の一つ一つを別のものとして学ぶのではなく系統立てて理解するようにしましょう。				◎		
22409	教科専門科目 (中学校教科数学)	線形代数Ⅱ	朝倉 相一	線形写像の概念は、線形代数の中核をなすものですが、ここでの課題は線形写像について代数的側面と幾何学的側面の両方から学ぶことです。	授業は学生の理解が得られるようにじっくりと進めますので、学習事項の一つ一つを別のものとして学ぶのではなく系統立てて理解するようにしましょう。				◎		
22410	教科専門科目 (中学校教科数学)	線形代数演習Ⅱ	朝倉 相一	線形写像の概念は、線形代数の中核をなすものですが、ここでの課題は線形写像について代数的側面と幾何学的側面の両方から学ぶことです。	授業は学生の理解が得られるようにじっくりと進めますので、学習事項の一つ一つを別のものとして学ぶのではなく系統立てて理解するようにしましょう。				◎		
22411	教科専門科目 (中学校教科数学)	代数学A	西村 保三	初等整数論の基礎と応用について学ぶ。	講義に積極的に参加し、様々な例を自分でも考えることが出来つつ、諸定理の証明ができるようになることを目標とします。				◎		
22412	教科専門科目 (中学校教科数学)	代数学B	西村 保三	同値関係と準同型定理の理解	群、環、体の基礎的な理論を習得する。とくに、同値関係と類別の考え方に基づく剰余群、剰余加群の概念について理解する。対称群、巡回群等の具体例を通して準同型定理について理解する。				◎		
22420	教科専門科目 (中学校教科数学)	初等幾何学	西村 保三	基本公理から厳密な論証によって導かれる定理で構築される古典的平面幾何学の理論体系を理解し、平面図形に対する直観力を養う。また非ユークリッド幾何学や射影幾何学との関連性について触れることで、現代幾何への発展を認識させる。	将来、教職に立った時に算数・数学で平面図形を授業する立場になることを念頭に、平面幾何の理解を深める。				◎		
22421	教科専門科目 (中学校教科数学)	初等幾何学演習	西村 保三	公理から厳密な論証によって定理を導くことで構築される平面幾何の理論体系を理解する。	平面幾何の定理を自らの頭で考え、論証し、発表するプレゼンテーション能力を養う。また図形を作図する基本的な技術も身に付ける。				◎		
22424	教科専門科目 (中学校教科数学)	幾何学講究	西村 保三	①数学書を読みこなすことができること ②与えられた内容を自分なりに再構成できること ③再構成した内容を聞いている相手にわかるように伝えられること	授業目標を達成できるようにすること				◎		
22425	教科専門科目 (中学校教科数学)	幾何学A	西村 保三	この授業では、基礎的事項として集合論を学んだ後、ユークリッド空間における連続写像、距離、閉集合と開集合という概念を学んだ後に、位相空間への一般化を理解する。またグラフ理論や多面体の幾何にも触れ、幾何的直観力を身につける。	集合の記法、距離空間における開集合・閉集合と連続写像の概念を理解し、 ϵ δ 論法などによる論証を身につける。抽象的な「位相」の感覚を体得し、連結・コンパクトなどの空間の性質を理解する。グラフ理論と多面体の幾何に触れ、位相空間論の実生活・他分野への応用を知る。				◎		
22426	教科専門科目 (中学校教科数学)	幾何学B	西村 保三	座標の導入によって、図形を数式で記述する解析幾何の手法を習得する。さらに曲線の曲率を理解して、微分幾何の入門とする。	座標を使った図形と方程式の関連を理解する。曲率の概念を理解し、計算できるようにする。				◎		
22427	教科専門科目 (中学校教科数学)	幾何学演習A	西村 保三	この授業では、基礎的事項として集合論を学んだ後、ユークリッド空間における連続写像、距離、閉集合と開集合という概念を学んだ後に、位相空間への一般化を理解する。またグラフ理論や多面体の幾何にも触れ、幾何的直観力を身につける。	集合の記法、距離空間における開集合・閉集合と連続写像の概念を理解し、 ϵ δ 論法などによる論証を身につける。抽象的な「位相」の感覚を体得し、連結・コンパクトなどの空間の性質を理解する。グラフ理論と多面体の幾何に触れ、位相空間論の実生活・他分野への応用を知る。				◎		
22428	教科専門科目 (中学校教科数学)	幾何学演習B	西村 保三	座標の導入によって、図形を数式で記述する解析幾何の手法を習得する。さらに曲線の曲率を理解して、微分幾何に触れ、曲線・曲面論の理解を深める。	座標を使った図形と方程式の関連を理解する。曲率の概念を理解し、計算できるようにする。				◎		
22440	教科専門科目 (中学校教科数学)	微分積分学演習Ⅰ	三上 俊介	微分積分学Ⅰに関する演習を行い、理解を深める。	微分の知識を身に付け、自由に使えるようになる。				◎		
22441	教科専門科目 (中学校教科数学)	微分積分学Ⅱ	櫻本 篤司	微分積分学Ⅰに続くものであり、主として積分について解説する。	積分に関する公式などを自由に使えることができる面積や体積などを求めることができる				◎		
22442	教科専門科目 (中学校教科数学)	微分積分学演習Ⅱ	三上 俊介	微分積分学Ⅲに関する演習を行い、理解度を高める。	積分に関する公式などを自由に使えることができる。面積や体積などを求めることができる。				◎		
22443	教科専門科目 (中学校教科数学)	解析概論	櫻本 篤司	マクローリン展開、不定形の極限、多変数関数の微分・積分について理解する	多変数関数の微積分を理解する 公式等を用いて計算ができる				◎		
22444	教科専門科目 (中学校教科数学)	解析概論演習	櫻本 篤司	解析概論の演習を行い、理解を深める	多変数関数の微積分を理解し、公式等を用いて具体的に計算ができる				◎		

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
22447	教科専門科目 (中学校教科 数学)	解析学講究	榎本 篤司	解析学の中からテーマを選び、それに関するテキストを読んで理解する	テキストの内容について理解し、わかりやすく解説する			◎			
22448	教科専門科目 (中学校教科 数学)	解析学A	榎本 篤司	複素関数の微分積分について学習する				◎			
22449	教科専門科目 (中学校教科 数学)	解析学B	榎本 篤司	積分を用いて解を求める積分法など微分方程式を解く様々な手法について解説する。				◎			
22464	教科専門科目 (中学校教科 数学)	確率・統計講究	松本 智恵子	これまでに学習してきた数学、特に確率論と統計学について、自身の知識を確認し、4年時に際し備える。	確率や統計の知識を確認し、深める。	○		◎			△
22467	教科専門科目 (中学校教科 数学)	初等確率論	松本 智恵子	将来の様々な状況において必要となる実践的な課題解決力を身に付け、指導する為に、応用数学の1つとして「確率」の基礎を学ぶ。	確率の基礎を理解し、実践的な課題解決力を身に付け、指導できるようにする。	○		◎			△
22468	教科専門科目 (中学校教科 数学)	初等確率論演習	松本 智恵子	「初等確率論」の内容の理解を促し、実践的な課題解決力を身に付け、指導できるまでにする。	積極的に演習に参加し、将来の様々な状況に応用できるよう、「確率」の基礎を身に付ける。	○		◎			
22469	教科専門科目 (中学校教科 数学)	初等統計学	松本 智恵子	実践的な課題解決力を身につけるために、基本的な統計手法、調査法を理解する。	実践的な課題解決力を身につけるために、実生活に必要な「統計的思考能力」を身に付ける。	○		◎			△
22470	教科専門科目 (中学校教科 数学)	統計基礎	松本 智恵子	実践的な課題解決力を身につけるために、統計的データをまとめ、分析するために必要な、基礎的な統計学的知識の習得を目指す。	実践的な課題解決力を身につけるために、「統計的思考力」を身につける。	○		◎			△
22471	教科専門科目 (中学校教科 数学)	多変量解析	松本 智恵子	実践的な課題解決力を身につけるために、基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方や主要な計量モデルを理解する。	多次元データを分析し、実践的な課題解決力を身につけるために、コンピュータの『中』でどのような分析が行われて、結果が出てくるのかをきちんと理解してください。	○		◎			
22480	教科専門科目 (中学校教科 数学)	情報数学	松本 智恵子 榎本 篤司 西村 保三	EXCEL、TeX、数学ソフトウェアなどの講義と演習を通じ、教科の専門性を高める。また、情報機器の扱いに慣れ、新しいカリキュラムを開発する際に利用できるようになる。	将来、教職に就いた時に、情報機器の扱いやコンピュータ関連のリテラシーについてまごつかないよう、積極的に演習に参加し一通りの知識を身に付ける。	○	○	◎			△
22481	教科専門科目 (中学校教科 数学)	情報基礎	塚本 充	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養を身につけること。	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養を身につけること。			◎			
22482	教科専門科目 (中学校教科 数学)	計算機利用基礎演習	塚本 充	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養と実際に運用できる基本的な能力を身につけること。	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養を身につけ、スキルアップすること。		○	◎			
22483	教科専門科目 (中学校教科 数学)	計算機利用応用演習	塚本 充	情報科学全般の知識を活かして、安定した情報システムを構築・運用できる実務的な能力を身につけること。	コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、そしてネットワークに関するやや高度な実習を通して、実践的なコンピュータ設定・運用能力を身につけること。		○	◎			
22502	教科専門科目 (中学校教科 数学)	数学総合演習	榎本 篤司 風間 寛司 西村 保三	微分積分学と線形代数の復習と発展を目指す	微分積分学と線形代数の復習と発展を目指す			◎			
22503	教科専門科目 (中学校教科 数学)	数学特別研究	西村 保三	卒業研究をうまく行うための支援的な講義・演習である。	数学の課題を設定して、研究を行うこと			◎			○
22508	教科専門科目 (中学校教科 数学)	数学特別研究	風間 寛司	算数・数学教育の先行的実践研究のレビューやテキスト批評等の輪読及び卒業研究のための支援的な講義・演習を行い、卒業論文をまとめられるようにする。	算数・数学の教材開発を通して実践研究の方法を学び、教師になるための資質を高める。 ① 先行研究のレビューの方法を学ぶ。 ② 実践記録の分析の方法を学ぶ。 ③ 教材開発の方法を学ぶ。 ④ 様々な授業のアプローチの仕方を学ぶ。 ⑤ 授業分析の方法を学ぶ。 ⑥ 卒業論文のまとめ方を学ぶ。	◎	◎	◎	○	○	◎
22515	教科専門科目 (中学校教科 数学)	数学特別研究	榎本 篤司	数学(解析学、幾何学、代数学)とその応用について研究する。	新しい発見をし、数学研究の楽しさを実感する			◎			◎
22506	教科専門科目 (中学校教科 数学)	数学特別研究	松本 智恵子	4年間で学んだことを生かし、特に統計関連の知識を用いて大学での研究の総仕上げをする。	これまで学んだ知識を総動員して授業に臨み、今後の社会生活の糧にする。	○		◎			
22505	教科専門科目 (中学校教科 数学)	数学特殊講義A	三上 俊介	周期的な現象の解析をめざして、フーリエ解析の入門を学びます。それらがCTスキャンの原理や音のデジタル化などにどのように応用されているかを紹介いたします。	フーリエ解析の概略を学び、数学が科学や技術等にどのように利用されているかの具体例を知ります。			◎			
22505	教科専門科目 (中学校教科 数学)	数学特殊講義B	西村 保三	ギリシアの3大作問問題を否定的に解決するに至った経緯をGalois理論により理解することを目標とする。また教育現場に必要なコンパスと定規を用いた作図に関するスキルアップも目標とする。	これまでに習ってきた数学的知識をGalois理論の理解を目標にして整理統合する。大学で学んできた現代数学の知識が数学教育の現場で役立つことを理解する。			◎			
22516	教科専門科目 (中学校教科 数学)	原書講読	榎本 篤司	英語で書かれた数学に関する書籍が読めるようになる	英語で書かれた数学に関する書籍が読めるようになる			◎			
22600	教科専門科目 (中学校教科 理科)	基礎物理学実験(コンピュータ活用を含む)	栗原 一嘉	(1) 力学・熱力学・光学・電磁気学の分野の中の基礎的な物理的概念に関して、実験を通して理解し、実験技術、データ処理、レポートの基本を学ぶ。 (2) グループで協力しながら実験をすることで、実験結果および実験内容など関連事項について相談しながら、調査研究し報告することで、新しい物理的な知識を習得する。 (3) 自分自身でデータを取り、関連事項について調査し、レポート作成することで物理的な基本を身につける。さらに、実験結果を図、表、グラフを使用したプレゼンテーションにより相手にわかりやすく説明する能力を身につける。	物理実験の基本的な手法をマスターし、データの収集法、結果の検討、レポートの書き方をマスターする。実験に際しては、教科書や他の書籍等を参考に自分達で必要な装置やデータ取りの方法を考え、できるだけ精度の高い実験を行う基本的な実験技術を習得する。また、得たデータを実験中に作表、グラフ化を行って、理科年表などを参考にして早い段階でデータの信頼性についてチェックし、グループ内で自由に議論し論理的にまとめ上げる能力を身につける。得た実験データをもとに論理的に考察し、考察結果を明確かつ正確なことばで表現する。	○	◎	○	◎		
22601	教科専門科目 (中学校教科 理科)	力学	栗原 一嘉	力学は、物理学の開拓者たちが物体の運動に興味を持って誕生した学問体系である。一般的で抽象的な力学の物理概念を、具体例を使うことによって、正しく理解し、自然に対する物理的な見方を身につける。	力学を理解し、実力をつけるためには、数式を単に目で追うだけでなく、労力を惜しまずに自分の手を動かして計算することが必要である。できるだけ多くの具体例に対して、各個人が鉛筆を手に計算する学習を行う。	○		◎	○		
22602	教科専門科目 (中学校教科 理科)	電磁気学	栗原 一嘉	電磁気学は、力学とともに物理学の基礎をなす。電気現象と磁気現象に関する諸法則を、具体例を使うことによって、正しく理解し、現代文明の繁栄に大きく貢献している電気工学・電子工学の考え方を身につける。	電磁気学を理解し、実力をつけるためには、数式を単に目で追うだけでなく、労力を惜しまずに自分の手を動かして計算することが必要である。できるだけ多くの具体例に対して、各個人が鉛筆を手に計算する学習を行う。	○		◎	○		
22604	教科専門科目 (中学校教科 理科)	近代物理学	栗原 一嘉 山田 吉英	近代物理学は、古典物理学と区別して称されるものであり、20世紀初頭に確立した量子力学や相対性理論の影響を強く受けた物理学を指す。本授業では、近代物理学として、量子力学に焦点を絞り、近代的な力学の考え方を学ぶ。	量子力学とニュートン力学が、どのように違うかを理解する。	○		◎			

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項						
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達への支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開	
22605	教科専門科目 (中学校教科 理科)	物理学実験Ⅰ	栗原 一嘉,山田 吉英	教員養成系学部における物理学実験は、学問体系での理論物理学に対する実験物理学の観点に加えて、初等中等教育での座学授業に対する演習授業の観点が重要である。本授業では、物理を主体として理科の教員免許を取得する学生に対して、比較的高度な物理実験を体験してもらうと同時に、演習授業で役立つ教材開発作りを行ってもらい、さらに、実験で必要となる物理について輪講する。	自分の手や頭を使いながら、自ら積極的に実験に取り組むこと。実験授業なので、休まずに出席すること。	○	◎	○	○	○		
22606	教科専門科目 (中学校教科 理科)	物理学実験Ⅱ	栗原 一嘉	教員養成系学部における物理学実験は、学問体系での理論物理学に対する実験物理学の観点に加えて、初等中等教育での座学授業に対する演習授業の観点が重要である。本授業では、物理を主体として理科の教員免許を取得する学生に対して、比較的高度な物理実験を体験してもらう。具体的には、本格的な光学実験を行う上で必要となる微分形式の電磁気学を学び、その上で本格的な光学を体験してもらう。	自分の手や頭を使いながら、自ら積極的に実験に取り組むこと。実験授業なので、休まずに出席すること。	○	◎	○	○			
22632	教科専門科目 (中学校教科 理科)	基礎化学	浅原 雅浩,中田 隆二	原子の電子構造に基づいた周期律の成り立ち、化学結合の仕組みとその性質、物質の三態変化、溶解反応・水溶液内酸塩基反応・酸化還元反応の機構と定量的取り扱い、主な有機化合物の構造と性質などについて学習する。高校での学習との大きな違いは、「物質の構造・物性・反応を電子や軌道の概念を使って解釈する点」と「エネルギーの定量的な取り扱いに基づいて、反応や現象を解釈する点」にあるといえる。教科書に記載されていない、重要な事項については補足説明する。	化学に関する基礎的な事項を理解する。 中学校理科及び高等学校化学の授業を担当する上での専門的なバックグラウンドを身につける。	(1)○ (2)○		(1)◎ (2)◎		(1)○ (2)○	(1)△ (2)△	
22621	教科専門科目 (中学校教科 理科)	基礎化学実験(コンピュータ活用を含む)	浅原 雅浩,中田 隆二,青山 綱代	基本的な物質の構造と性質、及び、その取り扱い法あるいは分離・検証方法を習得することを目的とする科目であり、下記の実験課題を15週に分けて実施する。 毎週、実験に着手する前に実験内容、実験方法、実験上の留意事項などについて講義を行い、化学物質の性質などについての知識を深めると共に、実験操作の意義や細部の注意事項、さらには安全性の確保などを確認する。	化学実験を行う(指導する)ための基礎的な力量をつける。 実験レポートの作成能力およびプレゼンテーション能力を養う。 安全確保、ガラス細工、実験器具の取扱方、廃液処理の仕方を身につける。	(1)○ (2)○ (3)○		(1)◎ (2)◎ (3)◎	(1)○ (3)○	(1)○ (2)○ (3)○	(2)◎	
22622	教科専門科目 (中学校教科 理科)	分析化学	中田 隆二	中学・高校の理科(化学分野)で取り扱うことのできる水溶液中における、金属イオンのさまざまな反応を、主に溶液内イオン平衡論に基づいて説明する。取り上げる内容は、溶媒としての水の構造と特性、酸・塩基平衡(ブレンステッドの酸・塩基、酸の強弱、酸解離定数、pH指示薬、pH緩衝溶液)、沈殿平衡(溶解度と溶解度積、イオン強度、pHの影響、ルイスの酸・塩基)、錯生成平衡(錯生成定数、キレート、pHの影響)、酸化還元平衡(Nernst式、酸化還元電位、pH・沈殿生成・錯生成の影響、電池の起電力、電気分解)など。	以下のことができる能力を身につける。モル濃度の計算、活量の計算、pHの計算、溶解度の計算、起電力の計算、各種平衡定数を使った溶液内反応および溶存状態の定量的把握と理解。	(1)○		(1)◎			(1)◎	
22623	教科専門科目 (中学校教科 理科)	無機化学	浅原 雅浩,中田 隆二	化学物質の基本となる原子・分子の化学結合を理解する。 代表的な元素の諸性質について系統的な理解をする。 化合物の諸物性を理解するうえで必要となる理論を習得する。	中学校理科及び高等学校化学の授業を担当する上での専門的なバックグラウンドを身につける。	(1)○		(1)◎			(1)○	
22624	教科専門科目 (中学校教科 理科)	物理化学	吉村 忠興志	物質の状態、性質、及び変化を決める因子を理解するために、化学熱力学の基礎と平衡論、化学反応速度論について解説する。	以下のことができる能力を身につける。単位の換算、気体の状態方程式を使用して状態を予測、平衡定数や酸化還元電位と自由エネルギー変化量との関連づけ、アレニウスの式を使った反応速度の予測。	(1)○		(1)◎			(1)○	
22625	教科専門科目 (中学校教科 理科)	有機化学	浅原 雅浩	(1)基本的な有機反応の原理としくみを理解する。 (2)基本的な有機反応を組み合わせた、多段階合成スキームが設計できる。 (3)有機化学と身の回りの化学物質の関連性を考えられる。	中学校理科及び高等学校化学の授業を担当する上での専門的なバックグラウンドを身につける。	(1)○		(1)◎			(1)○	
22626	教科専門科目 (中学校教科 理科)	化学計測実験	吉村 忠興志	容量分析や分析機器を使った比色分析などの分析化学・物理化学実験と、その応用としての環境試料を対象とした水質分析、そして有機化合物を対象とした様々な機器分析を通して、測定機器の使い方・データの取り扱い方と解析の仕方を習得させる。使用する薬品類や機器、実験廃液の適切な取扱い方を修得させる。	化学計測実験における基本的な操作ができ、計測データを多角的に整理・考察ができる。	(1)○		(1)○	(1)◎		(1)○	
22627	教科専門科目 (中学校教科 理科)	化学合成実験	浅原 雅浩,中田 隆二,青山 綱代	(1)基本的な合成に使用する実験器具がわかる。 (2)基本的な合成に使用する薬品と廃液の取扱がわかる。 (3)実験計画を立てることができる。 (4)実験結果をレポートにまとめることができる。 (5)実験結果のポイントをまとめて口頭発表することができる。	化学合成実験は危険が伴います。危ないものを危なくないように取扱えるようになることが大切です。また、合成品は、作っておしまいというわけにはいきません。分析をして化合物を同定する力と廃液等の後処理についても身につけてください。実験は、レポートにまとめて、成果発表を行うことで完結します。ここでは、相手に内容が正確に伝わるレポート作成力とプレゼンテーション能力を身につけてください。	(1)○ (2)○ (3)○		(1)◎ (2)◎ (3)◎	(1)○ (2)○ (3)○	(1)○ (2)○ (3)○		
22628	教科専門科目 (中学校教科 理科)	化学演習	浅原 雅浩,中田 隆二,青山 綱代	(1)英文を正確に理解することは卒業研究における事前調査の基本となる。化学英文の読解や英作文に必要な専門用語の知識を論文等の読解演習を通して身につける。 (2)高等学校「化学基礎」および「化学」の中から、いくつかの実験を取り上げ、実際の準備から実験とその評価および後片付け(廃棄物処理を含む)までを実践する。	化学教育英語論文に親しむ。 実験に必要な薬品・ガラス器具等を準備・手配できる。 高校化学実験の準備・実験・後片付けの一連の流れを体験し、安全指導を含めた留意点を学ぶ。	(1)○ (2)○ (3)○		(1)○ (2)○ (3)○	(1)◎ (2)◎ (3)◎	(1)○ (2)○ (3)○		
22629	教科専門科目 (中学校教科 理科)	化学特講Ⅰ	浅原 雅浩	化学と地学の両方に関係する内容です。 化学を専攻していない学生、免許取得プログラムの院生も興味のある方は、受講してください。 地球化学分野の基本的な概念を理解すること。	化学に関する基礎的な事項を理解する。	(1)○		(1)◎		(1)○	(1)△	
22630	教科専門科目 (中学校教科 理科)	化学特講Ⅱ	浅原 雅浩,中田 隆二,青山 綱代	小中学校及び高等学校における、企業見学学習プランの企画・立案と実践力を身につける。 企業視察を通じて、実感を伴った科学技術と地域産業の理解を深め、これらと小中高の理科(化学)の繋がりを学ぶ。	地域における各企業の内容の理解と、将来の企業見学、地域との連携および理科における実感を伴った理解につなげる。	(1)○ (2)○		(1)○ (2)○	(1)◎ (2)◎	(2)△	(1)○ (2)○	(1)△ (2)△
22631	教科専門科目 (中学校教科 理科)	環境化学	未定			(1)○ (2)○		(1)○ (2)○	(1)◎ (2)◎	(1)△ (2)△	(1)○ (2)○	(1)△ (2)△
22656	教科専門科目 (中学校教科 理科)	基礎生物学	西沢 徹,大山 利夫	生物教育を担当するために必要な基礎知識を修得すること。	中学、高校等で生物関係の授業を担当するために必要な基礎知識を修得する。			○	◎		○	
22641	教科専門科目 (中学校教科 理科)	基礎生物学実験(コンピュータ活用を含む)	大山 利夫,西沢 徹,林 雅恵	中等教育における生物学関係の授業実践に必要な実験観察法を修得するとともに、実験・観察を通して生命現象に対する観察力と洞察力を養う。	中学校、高等学校で生物教育を行うための基礎知識と実験観察法を修得する。			○	◎		○	
22642	教科専門科目 (中学校教科 理科)	遺伝学	大山 利夫	遺伝学の歴史を踏まえた上で、現在明らかにされている遺伝子の構造や働き、遺伝の法則性に関する知識を習得し、生命現象を分子レベルで理解できるようにする。	遺伝現象について理解する。中学および高校理科で生物分野の授業が担当可能な知識と考察力を身につける。			◎			○	
22644	教科専門科目 (中学校教科 理科)	生理学	大山 利夫	この授業では動物の基本的な生理機能について解説していく。そして、体内の恒常性が、内分泌系や神経系の働きによって維持制御されていることを理解する。	体内の恒常性が、内分泌系、神経系や免疫系の協働によって維持制御されていることを理解する。 中学や高校で生物分野の授業が担当できる程度の知識を身につける。			◎			○	
22645	教科専門科目 (中学校教科 理科)	形態・分類学	西沢 徹,大山 利夫	○生物の多様性や分類群の特徴について理解を深め、中高理科の生物関係の授業が担当可能な知識を身につける。 ○生物教材に活用される代表的な分類群の特徴を理解し、実習・実験指導や野外観察指導を行える力量を身に付ける。	中学、高校で生物関係の授業を担当するための知識を身につける。			◎			○	

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎=DP達成のために特に重要な事項、○=DP達成のために重要な事項、△=DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
22646	教科専門科目 (中学校教科 理科)	生物学特別講義	西沢 徹, 大山 利夫	生物専門授業で学んできた知識をもとに、近年生命科学分野で話題になっている問題や考え方について理解を深める。さらに、最近では、生態学や系統分類学など、野外科学としての側面をもつ分野においても、分子生物学的技術を利用したアプローチが広く行われていることから、フィールドワーク(野外調査)とラボワーク(遺伝子解析)の両面から植物の生命活動を解き明かす方法論と実例について理解を深める。	現代生命科学の現状と問題点を理解し、生物教育に資すること。	○	○	◎			○
22647	教科専門科目 (中学校教科 理科)	細胞組織学実験	大山 利夫, 西沢 徹, 林 雅恵	生命の基本単位である細胞の構造とそのはたらきについて理解を深めるために、細胞・組織の観察、細胞を構成する物質の分離と定量、遺伝・生理学的実験を行う。なお、実験で使用する生物の採集や野外観察も実験の中に含まれる。	細胞や組織の観察法および生体物質の取り扱い方を習得する。		○	◎			○
22648	教科専門科目 (中学校教科 理科)	形態・分類学実験	西沢 徹, 大山 利夫, 林 雅恵	生物の多様性とそれを認識するための方法論について知り、中高理科の生物関係の授業が担当可能な知識と指導法を身につけさせる。	中学、高校で生物関係の授業を担当するための知識と指導法を身につける。		○	◎			○
22649	教科専門科目 (中学校教科 理科)	生物野外実習	大山 利夫, 西沢 徹, 林 雅恵	野外に生息する生物を直接観察し、それぞれの生息環境や生態について理解する。生態系の重要性を認識し自然保護、環境保全などの姿勢を身につける。	生物の多様性、生態系の重要性を理解して自然保護、環境保全に対する態度を身につける。また、生物群集の野外調査法やフィールドワークに関する技術を身に付け、学校現場における野外観察実習や環境教育の際に適切な観察指導を行うことができる力量や、安全指導法を身に付ける。	○	○	◎			○
22651	教科専門科目 (中学校教科 理科)	生態学	西沢 徹	生物の分布と存在量(個体数)の変動を規定する要因について、生物とそれを取り巻く環境(生物的環境および非生物的環境)との関わりを視座から理解する。さらに、人為活動が生物圏に与える影響について理解を深め、ヒトを含む生物と環境との関わりや自然保護に関して、受講生各自が自覚を持った教育活動を展開できる力量を身に付ける。	○生態系の構造と機能、生物間相互作用、および生物と環境との関わりについて理解し、学校教育における理科教育や生物教育に関連した授業および野外教育活動などを担当できる知識を修得する。 ○さらに、ヒトも生態系の構成員であることを認識し、地球環境や生物圏環境の保全について、各自の考えを持てるようになること。	○		◎			○
22652	教科専門科目 (中学校教科 理科)	発生生物学	大山 利夫	生殖と発生のしくみについて理解し、複雑な発生現象にさまざまな遺伝子やタンパク質が関与していることを知ってもらいたい。	発生のしくみを理解し、中学や高校理科の生物分野の授業が担当可能な知識を身につける。			◎			○
22654	教科専門科目 (中学校教科 理科)	多様性生物学	保科 英人	分類学の基礎の習得と、生物の多様性の理解を目標とする。	分類学の基礎の習得と、生物の多様性の理解			◎			
22655	教科専門科目 (中学校教科 理科)	細胞生物学	大山 利夫, 西沢 徹	細胞の基本的な構造と機能について理解し、細胞内、細胞間のシグナル伝達とネットワークにより生命活動が維持されていることを理解する。 さらに、植物が持つ潜在的な機能を細胞レベルおよび遺伝子レベルで制御するバイオテクノロジーについて、基本的な内容を理解し、植物の生産性向上、環境ストレス耐性の獲得、エネルギー生産など、ヒトと生命科学における革新的技術の関わりについて理解を深める。	細胞の構造と機能について理解し、高等学校で生物の授業を担当できる程度の知識を修得する。			◎			○
22660	教科専門科目 (中学校教科 理科)	基礎地学	山本 博文, 藤井 純子, 三好 雅也	「学生の目標」を参照	地球の形成史や地球で起こっている様々な現象を通して、地球科学の基礎を修得する。	◎		◎			
22661	教科専門科目 (中学校教科 理科)	基礎地学実験(コンピュータ活用を含む)	山本 博文, 藤井 純子, 三好 雅也	「学生の目標」を参照	地球科学における基本的な手法を習得する。また地域の地質について観察を通して深い理解を得る。	◎		◎			
22663	教科専門科目 (中学校教科 理科)	地球科学概論Ⅱ	山本 博文	「学生の目標」を参照	堆積学、地層学の基礎の習得、地球表層部における様々な地質学的作用に着目し、地球で起こっているダイナミックな現象を理解する。	◎		◎			
22664	教科専門科目 (中学校教科 理科)	第四紀学	山本 博文	「学生の目標」を参照	地球表層部の諸現象、特に現在進行している事象について、基本的な理解をする。	◎		◎			
22666	教科専門科目 (中学校教科 理科)	地球科学実験	山本 博文, 藤井 純子, 三好 雅也	「学生の目標」を参照	地球科学の実験・観察手法を習得する。また福井地域の地質について、野外観察を通して理解を深める。	◎		◎			
22667	教科専門科目 (中学校教科 理科)	地質野外実習	山本 博文, 三好 雅也, 藤井 純子	「学生の目標」を参照	これまで講義等で習得してきた地層や岩石、地形形成等を福井周辺地域を中心に、実際に野外に出て観察し、実物にふれ、確かなものとする。	◎		◎			
22668	教科専門科目 (中学校教科 理科)	地球科学演習	山本 博文, 藤井 純子, 三好 雅也	地球科学に関するテーマの中から、より深く学びたいテーマを選び、文献により学んだ知識や野外観察や実験で得られた結果をまとめて発表する力を養う。	設定したテーマについてまとめ、分かりやすく発表できる	◎	○	○			○
22669	教科専門科目 (中学校教科 理科)	地球科学特講	未定			◎		◎			
22822	教科専門科目 (中学校教科 音楽)	独唱Ⅲ	梅村 憲子	独唱Ⅱを発展させた様々な声楽曲の的確な解釈と演奏。特にイタリア語の歌曲を通して、喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方を習得し、正しい声聞き分けの耳を養う。喉の開いた声とはどのような発声の事を指すのかを模索し、母音によるレガートを目指す。楽譜と歌詞とを深く読み、作曲家の意図をくみ取り、言葉と音楽とを一つにして心をこめて表現する。 伴奏パートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	独唱Ⅱでの学習の上に立ち、さらに歌詞の内容に踏み込んだ表現力を身に付けると共に「自由になる声」を目標とする。 基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組む事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛する表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△		◎		○	○
22834	教科専門科目 (中学校教科 音楽)	独唱Ⅲ	梅村 憲子	独唱Ⅱを発展させた様々な声楽曲の的確な解釈と演奏。特にイタリア語の歌曲を通して、喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方を習得し、正しい声聞き分けの耳を養う。喉の開いた声とはどのような発声の事を指すのかを模索し、母音によるレガートを目指す。楽譜と歌詞とを深く読み、作曲家の意図をくみ取り、言葉と音楽とを一つにして心をこめて表現する。 伴奏パートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	独唱Ⅱでの学習の上に立ち、さらに歌詞の内容に踏み込んだ表現力を身に付けると共に「自由になる声」を目標とする。 基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組む事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛する表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△		◎		○	○
22823	教科専門科目 (中学校教科 音楽)	独唱Ⅳ	梅村 憲子	日本歌曲の解釈と演奏において「聞いてわかる」日本歌曲の演奏を目指す。日本語においても喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方を習得し、正しい声聞き分けの耳を養う。ベルカントの発声方法と日本語の発音とを共存させ、正しい声で日本語の美しさを表現する。楽譜と歌詞とを深く読み、作曲家と詩人とが表現しようとした事を的確に把握し、自ら表現する。伴奏パートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	独唱Ⅲを発展させた基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組む事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛する表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△		◎		○	○

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
					地域や学校における実践コミュニティの一員として、また学びの専門職として、グローバルな視点から地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける基盤を有する。	子どもたちが活動的で協働的な学習、また教科の特性に応じた問題解決的な学習を行うことができるように、教育の目的・目標・内容、及び子どもたちの発達や地域社会に関する知識に基づいて指導と評価の計画を立てることができる。	子どもたちの知的・社会的・個性的な発達を支援するために、各教科・領域における重要な概念と固有の探究方法、及びそれらを子どもたちが学習していくプロセスに関して深い理解を有する。	子どもたちが平和で民主的な社会のあり方と人間らしい生き方について理解を深められるように、集団活動の運営方法や道徳的な指導を行うことができる。	子どもたち一人ひとりの個性に応じた成長と発達を支援することができる。	上記1から5の能力を要付けるために、学業が形成された足跡を示す学習成果をまとめて、公開することができる。	
22836	教科専門科目 (中学校教科音楽)	独唱Ⅴ	梅村 憲子	独唱Ⅳを発展させた基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組み事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛す表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	独唱Ⅳを発展させた基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組み事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛す表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△	◎		○	○	
22825	教科専門科目 (中学校教科音楽)	独唱Ⅵ	梅村 憲子	様々な声楽曲の的確な解釈と演奏。特にイタリアロマン派歌曲とモーツァルトのオペリアを学び、イタリア語によるレガートの完成を目指す。独唱Ⅴを発展させ、喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方の習得を目指す。明るく聞こえるイタリア語の母音の発声について、どのように取り組めば正しい発声に至るかを考察する。楽譜と歌詞とを深く読む事により作曲家の意図をくみ取り、言葉と音楽とを一つにして心をこめて表現する。伴奏パートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	独唱Ⅴを発展させた基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組み事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛す表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△	◎		○	○	
22838	教科専門科目 (中学校教科音楽)	独唱Ⅶ	梅村 憲子	独唱Ⅰ～Ⅵで学んだ事を元に各人に合った楽曲を選択し、卒業年次の演奏として完成度の高い仕上げを目標とする。喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方の習得を目指す。言葉と発音、心をこめて言葉と音楽とを一体とし表現する。楽譜と歌詞とを深く読む事によって作曲家が表現しようとした事を的確に把握し、それぞれの楽曲の音楽史上のスタイルを踏襲して表現する。ピアノパートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	独唱Ⅵを発展させた声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組み事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。卒業年次にかかわり完成度の高い演奏を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛す表現者たることで、生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。未開発であった自己の身体が楽器として鳴り始めるまでの努力の軌跡を、教職の現場において困難な状況に陥った時の克服への原動力としていきたい。	△	◎		○	○	
22829	教科専門科目 (中学校教科音楽)	合唱Ⅰ	梅村 憲子	歌唱時における基本的な体の使い方を知る 仲間の息遣いを感じ、声を聞き合い、ハーモニーを聴きながらアンサンブルする 発声のテクニックの基本を習得しアンサンブルへ応用する 合唱曲の指揮のタイミングを知る	発声の基礎を体の使い方、息の流れの感じ方を中心に身につける 仲間の息遣いを感じながらハーモニーを楽しんでアンサンブルする 声楽の発声のテクニックをアンサンブルへ応用する 声楽曲の指揮のタイミングを知る	△	◎		○	○	
22830	教科専門科目 (中学校教科音楽)	合唱Ⅱ	梅村 憲子	声楽アンサンブルの練習を通して、声と心とをひとつにする一体感を体験する。 アンサンブルに於ける表現の可能性を追求し、その能力を高める。 ポルフォニ、外国語合唱曲、日本語の合唱曲など、できるだけ広範囲のジャンルの合唱曲を体験し、「仲間の声を正しく聞く耳」を培う。常にハーモニーを感じながら「皆で心を一つにして歌詞を表現する」醍醐味を知る。	正しい発声。 ハーモニーを聞き合い純正な響きを味わう。 全員が自主的にかつ気持ちを合わせて歌う事により、自主的・自発的なアンサンブルを目指す。 メンタルハーモニーの実感を得る。 合唱でしか表現できない世界の体験。他のジャンルにはない均一性の美を感じる 歌詞をいかに歌に乗せて表現するか、伝えるか。	△	◎		○	○	
22886	教科専門科目 (中学校教科音楽)	声楽基礎Ⅰ	梅村 憲子	様々な声楽曲の的確な解釈と演奏。特にイタリア語の歌曲を通して、喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方の習得し、正しい声と聞き分けの耳を養う。喉の開いた声とはどのような発声の事を指すのかを模索し、母音によるレガートを目指す。楽譜と歌詞とを深く読む事により作曲家の意図をくみ取り、言葉と音楽とを一つにして心をこめて表現する。 伴奏パートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組み事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛す表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△	◎		○	○	
22877	教科専門科目 (中学校教科音楽)	声楽基礎Ⅱ	梅村 憲子	声楽基礎Ⅰを発展させた様々な声楽曲の的確な解釈と演奏。特にイタリア語の歌曲を通じて、喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方の習得し、正しい声と聞き分けの耳を養う。喉の開いた声とはどのような発声の事を指すのかを模索し、母音によるレガートを目指す。楽譜と歌詞とを深く読む事により作曲家の意図をくみ取り、言葉と音楽とを一つにして心をこめて表現する。 伴奏パートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	声楽基礎Ⅰでの学習の上に立ち、さらに歌詞の内容に踏み込んだ表現力を身に着ける。 基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組み事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛す表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△	◎		○	○	
22888	教科専門科目 (中学校教科音楽)	声楽基礎Ⅲ	梅村 憲子	声楽基礎Ⅱを発展させた様々な声楽曲の的確な解釈と演奏。特にイタリア語の歌曲を通じて、喉に負担のない正しい発声とそのための身体の使い方の習得し、正しい声と聞き分けの耳を養う。喉の開いた声とはどのような発声の事を指すのかを模索し、母音によるレガートを目指す。楽譜と歌詞とを深く読む事により作曲家の意図をくみ取り、言葉と音楽とを一つにして心をこめて表現する。 伴奏パートとの的確かつ積極的なアンサンブルを実現する。	声楽基礎Ⅱでの学習の上に立ち、さらに歌詞の内容に踏み込んだ表現力を身に着けると共に「自由になる声」を目標とする。 基本的な声楽の技術の習得。理論的、実践的に声楽の技術を身に付け、真摯に歌う事に取り組み事によってその奥深さ、快感、表現力の可能性に気付く。発声、発音、深い読譜、歌詞の理解とその表現など、言葉と音楽との相互作用によって「楽曲を自分のものとして表現する」事を目標とする。自分の身体を楽器として良い状態に保つために体調管理に留意し、かつ歌う事によって心身の健康を得られる事を自分自身で確認できるように。自らが真に音楽を愛す表現者たることで、子供たちに生き生きと的確に音楽する喜びを伝えられる教師を目指す。	△	◎		○	○	
22857	教科専門科目 (中学校教科音楽)	合奏Ⅰ(和楽器を含む)	八代 健志	教材は各自、小・中・高生対象の器楽合奏曲から選曲し、編曲、指揮、各セクションの担当の割り振り等準備する。演習では合奏の最も基本的な諸問題を自分一人で解決するのではなく、学生相互が音楽的演奏を目標に練習を積み重ね、耳の訓練、和声感、テンポ感、表現力等、演奏に必要な要素を習得することにある。楽器の構造と修理に関する技術を習得する。	学生相互が音楽的演奏を目標に練習を積み重ね、耳の訓練、和声感、テンポ感、表現力等、演奏に必要な要素を習得する。		◎		○	○	
22858	教科専門科目 (中学校教科音楽)	合奏Ⅱ	八代 健志	アフリカの太鼓「ジェンベ」の音楽におけるテキストとコンテキストの両面から演奏へのアプローチを行う。リコーダーコンサートを行なう。	1、音楽の構造を知り、演奏を通して理解する。 2、ジェンベの音楽を知り、演奏する。 3、ジェンベの音楽の文化的背景を知る	○	◎		○	○	
22913	教科専門科目 (中学校教科音楽)	世界音楽概論	渋谷 政子	日本を含む世界各地の伝統音楽を、楽器、唱法、音楽語法などの面から分析し、それぞれの音楽の特徴について考察します。また、世界音楽のありかたをとおして、生活に根付いた音楽、文化的アイデンティティとしての音楽、文化変容のなかの音楽など、音楽と人とのかわりについて、広い視野から論じます。	世界の音楽地図を把握し、各地の音楽様式、響き、演奏スタイル、構造的特徴を理解すること。また、世界音楽をとおして音楽概念の枠組みを広げ、社会のなかで音楽が顕在的・潜在的に果たす役割について考察する視点をも身につけること。卒業演奏を通して雅楽特有の音楽語法を捉えること。	○	◎		○	○	
22932	教科専門科目 (中学校教科音楽)	音楽学演習	渋谷 政子	音楽学の観点からの音楽研究の基礎を身につける。構造的な分析や文化史的・美学的考察の基礎的スキルと知識を、文献講義と発表によって習得する。	具体的なテーマについて音楽学的方法により考察・分析することを通して、音楽についてさまざまな視点から学問的にとらえる態度を身につける。	○	◎		○	○	
22904	教科専門科目 (中学校教科音楽)	音楽理解の視点	渋谷 政子	音楽と人間、音楽と社会との関係は、時代・文化やコンテキストによって多様に変化する。この授業では、具体的な事例をまじえながら、音楽に対する学問的アプローチを紹介し、音楽学の対象と方法論を概観するとともに、音楽の役割や意義について広く論じる。	音楽学という学問分野の基本的視点を理解し、その対象と方法論を把握する。日常的に身近にある音楽を学問の対象として観察することを通して、音楽にかかわる現象や文化全般の背景を考察する視点をも身につける。	○	◎		○	○	
22905	教科専門科目 (中学校教科音楽)	民族音楽学	渋谷 政子	日本を含む世界各地の伝統音楽を、楽器、唱法、音楽語法などの面から分析し、それぞれの音楽の特徴について考察します。また、世界音楽のありかたをとおして、生活に根付いた音楽、文化的アイデンティティとしての音楽、文化変容のなかの音楽など、音楽と人とのかわりについて、広い視野から論じます。	世界の音楽地図を把握し、各地の音楽様式、響き、演奏スタイル、構造的特徴を理解すること。また、世界音楽をとおして音楽概念の枠組みを広げ、社会のなかで音楽が顕在的・潜在的に果たす役割について考察する視点をも身につけること。卒業演奏を通して雅楽特有の音楽語法を捉えること。	○	◎		○	○	

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援することができる。	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
22920	教科専門科目 (中学校教科音楽)	音楽史概論	湊谷 政子	西洋音楽史に関する基礎知識を習得し、それに基づいて各時代の音楽の特徴を理解することをめざします。時代区分にしたがって、それぞれの時代に属する楽曲や作曲家、音楽語法と美学、社会背景を把握し、音楽理論の観点および文化的観点から個々の楽曲にアプローチする態度を養います。	西欧芸術音楽の歴史的な展開について、音楽様式、作曲技法、美学の観点からその流れを理解する。各時代の音楽の特徴を知識としてだけでなく実際の響きからも判別できるように。楽譜から音楽構造および音楽的意味を読み取る基礎的な能力を身につける。	○		◎			
23000	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描基礎Ⅰ(石膏頭像)	湊 七雄	石膏デッサンをとおして、基礎的な造形力を高める。あわせて、デッサンの指導方法とポイントについても理解を深める。	実技実習(石膏像素描)をとおし、木炭や鉛筆など、シンプルな描画材料を用いた基本的な表現技法やその手順について理解し、制作することができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23016	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描基礎Ⅰ(石膏頭像)	湊 七雄	石膏デッサンをとおして、基礎的な造形力を高める。あわせて、デッサンの指導方法とポイントについても理解を深める。	実技実習(石膏像素描)をとおし、木炭や鉛筆など、シンプルな描画材料を用いた基本的な表現技法やその手順について理解し、制作することができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23001	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描基礎Ⅱ(石膏胸像)	湊 七雄	石膏デッサンをとおして、基礎的な造形力を高める。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写する力を養う。	石膏デッサンをとおして、木炭や鉛筆など、シンプルな描画材料を用いた基本的な表現技法やその手順について理解し、制作することができる。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写することができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23017	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描基礎Ⅱ(石膏胸像)	湊 七雄	石膏デッサンをとおして、基礎的な造形力を高める。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写する力を養う。	石膏デッサンをとおして、木炭や鉛筆など、シンプルな描画材料を用いた基本的な表現技法やその手順について理解し、制作することができる。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写することができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23002	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描基礎Ⅲ(石膏胸像)	湊 七雄	石膏デッサンをとおして、基礎的な造形力を高める。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写する力を養う。鉛筆、木炭以外の素描材料についても理解を深める。併せて、素描の指導方法についても理解する。	実技をとおして、シンプルな描画材料を用いた応用表現やその手順について理解し、制作することができる。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写することができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23018	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描基礎Ⅲ(石膏胸像)	湊 七雄	石膏デッサンをとおして、基礎的な造形力を高める。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写する力を養う。鉛筆、木炭以外の素描材料についても理解を深める。併せて、素描の指導方法についても理解する。	実技をとおして、シンプルな描画材料を用いた応用表現やその手順について理解し、制作することができる。対象物の形のみならず、動きや量感、質感、モノが存在する空間などを的確に捉え描写することができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23003	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描Ⅰ	湊 七雄	素描基礎で身につけた描写力を実制作に活かす。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。	素描基礎で身につけた描写力を応用し作品制作ができる。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23019	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描Ⅰ	湊 七雄	素描基礎で身につけた描写力を実制作に活かす。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。	素描基礎で身につけた描写力を応用し作品制作ができる。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23004	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描Ⅱ	湊 七雄	素描基礎で身につけた描写力を実制作に活かす。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。	素描基礎で身につけた描写力を応用し作品制作ができる。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23020	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描Ⅱ	湊 七雄	素描基礎で身につけた描写力を実制作に活かす。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。	素描基礎で身につけた描写力を応用し作品制作ができる。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23005	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描Ⅲ	湊 七雄	素描を多くの可能性を持った芸術表現の一つと位置づけ、素描の表現の多様性を実制作を通して検討する。	素描基礎で身につけた描写力を応用し作品制作ができる。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23021	教科専門科目 (中学校教科美術)	素描Ⅲ	湊 七雄	素描を多くの可能性を持った芸術表現の一つと位置づけ、素描の表現の多様性を実制作を通して検討する。	素描基礎で身につけた描写力を応用し作品制作ができる。木炭、鉛筆に留まらない様々な描画材料について理解を深める。習作に留まらない、作品としての素描作品の制作を目指す。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23006	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作基礎Ⅰ(静物)	湊 七雄	静物画の制作をとおして、油彩画の基礎を身につけるとともに、素材についての理解を深める。	油彩画(F15号)2枚の作品制作をとおし、基本的な表現技法やその手順について理解する。また、絵画組成についての理解も深める。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23022	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作基礎Ⅰ(静物)	湊 七雄	静物画の制作をとおして、油彩画の基礎を身につけるとともに、素材についての理解を深める。	油彩画(F15号)2枚の作品制作をとおし、基本的な表現技法やその手順について理解する。また、絵画組成についての理解も深める。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎=DP達成のために特に重要な事項、○=DP達成のために重要な事項、△=DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学識形成の足跡を示す学習成果の公開
23007	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作基礎Ⅱ(グライユ)	湊 七雄	絵画古典技法実習を通して、油彩画の基本的技法とその歴史について理解を深める	グライユやカマイユなど、油彩画の古典技法について理解を深める。代表的な絵画下地・地塗りの方法について理解し、実際に白垂地を施す。古典作品の模写をとおして、基本的な表現技法やその手順について理解する。また、絵画組成についての理解も深める。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23023	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作基礎Ⅱ(グライユ)	湊 七雄	絵画古典技法実習を通して、油彩画の基本的技法とその歴史について理解を深める	グライユやカマイユなど、油彩画の古典技法について理解を深める。代表的な絵画下地・地塗りの方法について理解し、実際に白垂地を施す。古典作品の模写をとおして、基本的な表現技法やその手順について理解する。また、絵画組成についての理解も深める。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23024	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作Ⅰ(人体)	湊 七雄	コスチュームモデルを用いた油彩画の制作を通して、人体描写の基礎を身につける。油絵の具の特性について理解を深める。	油彩画(F15号とF30号)2枚の作品制作をとおし、基本的な表現技法やその手順について理解する。また、絵画組成についての理解も深める。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23009	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作Ⅱ	湊 七雄	コンセプトに沿った作品づくりができる。表現に用いる素材の特性について理解を深める。	作品制作をとおし、それぞれ異なる創造的表現を成立させるために求められる表現技法を見つめる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23025	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作Ⅱ	湊 七雄	コンセプトに沿った作品づくりができる。表現に用いる素材の特性について理解を深める。	作品制作をとおし、それぞれ異なる創造的表現を成立させるために求められる表現技法を見つめる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23010	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作A(水彩画)	湊 七雄	水彩画の基本的な表現技法とその手中について理解する。コンセプトに沿った作品づくりができる。表現に用いる素材の特性について理解を深める。	実習をとおし、水彩画の基本的な表現技法とその手順について理解する。透明水彩と不透明水彩の組成的な違いについて理解し、それぞれの特徴を生かした作品制作ができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23026	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作A(水彩画)	湊 七雄	水彩画の基本的な表現技法とその手中について理解する。コンセプトに沿った作品づくりができる。表現に用いる素材の特性について理解を深める。	実習をとおし、水彩画の基本的な表現技法とその手順について理解する。透明水彩と不透明水彩の組成的な違いについて理解し、それぞれの特徴を生かした作品制作ができる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23011	教科専門科目 (中学校教科美術)	絵画制作B(日本画)	西出 茂弘	日本画の特性を理解し、基礎的技法を習得する。小学校、中学校、高校での図画工作・美術の授業運営に必要な知識と技能を習得する。	作品制作をとおし、日本画の材料や表現技法について理解を深める。また、日本画特有のものの方について理解し、制作に反映させる。図画工作科の目標や内容を踏まえた「絵に表わす」「造形遊び」「鑑賞学習」の授業設計や運営ができる。			○		◎	
23012	教科専門科目 (中学校教科美術)	版画A(木版)	湊 七雄	木版画の特性を理解し、基礎的技法を習得する。小学校、中学校、高校での図画工作・美術の授業運営に必要な知識と技能を習得する。	木版画の特性を理解し、基礎的技法を習得する。小学校、中学校、高校での図画工作・美術の授業運営に必要な知識と技能を習得する。図画工作科の目標や内容を踏まえた「版を用いた表現」の授業設計や運営ができる。		○	○		◎	
23062	教科専門科目 (中学校教科美術)	デザイン基礎Ⅲ(コンピュータ)	西畑 敏秀	情報コミュニケーションにおけるグラフィックデザイン分野で、重要な役割をもつビジュアルイメージ。その中での「写真」という技法を明確な目的を持った表現の手法として理解し、マスターする	デジタルカメラを活用し、インターネットを利用したデータのやり取りも含め、マッキントッシュを中核とする実践的なグラフィックデザインのワークフローをマスターする。			○		◎	
23063	教科専門科目 (中学校教科美術)	デザイン制作A(グラフィック)	西畑 敏秀	デザインの現場における標準的なワークフローの基礎を演習する。具体的にはアップル社のマッキントッシュを使用したグラフィックデザインソフト「アドビイラストレータ」の基本的な技術の習得。ソフトのさまざまなツールを使いこなすことで、各自のオリジナル表現に活かすことを目的とする。また日常の一般事務書類も、文字やスペース等のデザインを意識した構成ができることを目指す。	グラフィックソフトを使いこなした制作技術をベースに、グラフィックデザインの基本的なセオリーに活かせるようになること。文字、色彩、構成の基本を習得することで、コンピュータの機能に負けないデザイン表現をできること。			○		◎	
23110	教科専門科目 (中学校教科美術)	美術史概論	芹川 貞夫	美術の歴史の展開を、まず一般的な社会歴史との関係及び造形思想の内部的展開との関連で理解し、そこに作家の個性がどう関わっているかを理解する。更に西洋美術と日本美術のそれぞれの特徴を理解する。ひいては、物である美術品が人間に及ぼす影響、個人と時代の関わり、文明における美術の位置や意味等を理解する。	美術の歴史の展開を、まず一般的な社会歴史との関係及び造形思想の内部的展開との関連で理解し、そこに作家の個性がどう関わっているかを理解する。更に西洋美術と日本美術のそれぞれの特徴を理解する。ひいては、物である美術品が人間に及ぼす影響、個人と時代の関わり、文明における美術の位置や意味等を理解する。			○	○		
23113	教科専門科目 (中学校教科美術)	日本の美術	芹川 貞夫	日本美術史の概略や流れをつかみ、その中で重要な出来事や人物、作品について知識を得る。更に、外国から受けた影響あるいは外国に与えた影響などを学びながら、日本的感性や日本美術の特質について理解を深める。	日本美術史の概略や流れをつかみ、その中で重要な出来事や人物、作品について知識を得る。更に、外国から受けた影響あるいは外国に与えた影響などを学びながら、日本的感性や日本美術の特質について理解を深める。			○	○		
23200	教科専門科目 (中学校教科保健体育)	体育原論	宗倉 啓	社会的なスポーツ事象と学校で生じているスポーツ・体育・保健に関する問題を取りあげ、その問題の所在、問題の背景、解決のあり方について論究する。	1. 問題の所在を把握する 2. 問題の背景を分析する 3. 問題の解決の方法を定める 4. 市民的資質として、スポーツに関する教養を高める	1◎ 3◎	2◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	
23201	教科専門科目 (中学校教科保健体育)	体育史	水沢 利栄	近代に入り誕生した各スポーツの歴史を紹介する。サッカー、テニス、野球、バレーボール、バスケットボール、スキーなどの今日盛んに行われているスポーツについて紹介する。	スポーツの誕生について理解し、スポーツ指導に役立たせる。	○	○	○	○	○	△
23204	教科専門科目 (中学校教科保健体育)	体育経営管理学	水沢 利栄	体育やスポーツに関わるマネジメントについて、その意義、内容、方法を概念的に論述した上で、学校体育や社会体育(スポーツクラブ、地域スポーツ等)における問題や実態解明の方策を探求する。併せて上記内容に関連する課題を与え、学校及び一般(公共・商業)体育施設の現場での問題点について理解を深める。	現在で身近で問題となっているスポーツおよび体育に関連する事象について掌握するとともに理論的に理解できるとともに対処方法について考えることができる知識と方法をみにつけるようにする。	○	○	○	○	○	△
23220	教科専門科目 (中学校教科保健体育)	体育学研究法Ⅰ	宗倉 啓, 田中 秀一, 水沢 利栄, 山田 孝禎, 稲垣 良介	体育学の個々の研究法を理解するために、受講生は体育学の研究分野から一つを選択し、国内外の先行研究をもとにその研究法の発展過程、今後の研究方向について検討する。	自ら設定した体育学に関するテーマについて、その理論的な背景と新たな研究法について調査・検討し理解する。			◎		○	
23221	教科専門科目 (中学校教科保健体育)	体育学研究法Ⅱ	宗倉 啓, 田中 秀一, 水沢 利栄, 山田 孝禎, 稲垣 良介	体育学研究法Ⅰで選択した分野を継続して受講し、自らの体育学に関するテーマを設定してそのテーマに関する理論的な背景の整理と新たな研究法について検討・理解する。	体育学研究法Ⅱでは、体育学研究法Ⅰで選択した分野のテーマについて、その理論的な背景の整理と新たな研究法について理解を深める。			◎		○	

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎=DP達成のために特に重要な事項、○=DP達成のために重要な事項、△=DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援	6. 学業成果の公開を示す学習成果の公開
23240	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	スポーツ原論演習	宗倉 啓	スポーツという人間の文化的行為を対象にして、近代スポーツの誕生と発展、アマチュアリズム、スポーツと基本的人権、スポーツ教育、部活動などの問題、傾向、展望について調査検討する。	スポーツという対象を多様な角度から分析・検討し、プレゼンテーションの方法も含めてその歴史的・社会的・教育的意義について認識を深める。	◎	○	◎	○	○	◎
23244	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	スポーツリスクマネジメント演習	水沢 利栄	①いかに事故を防止するか。 ②万一、事故が発生した場合に損害をいかに最小限にとどめるか。 ③いかに早期かつ経済的に解決するか。 ④いかに法的責任を回避するか。 基本的な理論とともにケーススタディを中心に扱い実践力を養う。	我が国におけるスポーツ場面における事故やトラブルなどの問題点が把握でき、それらのリスクを回避または最小限にとどめる対策について理解する。また自分が指導者になった場合について具体的な対処がおこなえるような能力を身につける。	○	○	○	○	○	△
23243	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	スポーツ心理学演習	水沢 利栄	演習形式での学習を基に、スポーツ心理学に関する本のチャプター、ならびに学術論文を講読し、パワーポイントにまとめ、プレゼンテーションを実施する。さらには、スポーツ心理学に関する簡単な実験や調査を実施し、スポーツ心理学研究を体感する。これらより、競技スポーツ、生涯スポーツ、学校体育教育などの種々のスポーツ指導場面に活かせる研究実践力の基礎を作ること目標とする。	・興味関心を持った本のチャプターや学術論文をパワーポイントにまとめ、わかりやすくプレゼンテーションする。 ・スポーツ心理学に関する実験や調査を行うにあたって、テーマや実施方法についてアイデアを出す。	○	○	○	○	○	△
23260	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	衛生学及び公衆衛生学	戎 利光	衛生学及び公衆衛生学の違いを解説し、衛生統計・老人保健をはじめ、栄養(栄養素の働き・生活習慣病・外食産業・エネルギー消費量・栄養所要量・活性酸素・ダイエットなど)、運動(生活習慣病・加齢[寿命]・日常生活活動量[エネルギー消費量]・体力・有酸素運動など)、ストレス(体脂肪[肥満や拒食]・自律神経失調・内臓[糖尿病や癌]・鬱病・自殺・過労死・テクノストレス・ストレス耐性・ストレス解消など)の公衆衛生学的内容について論述する。	(1)衛生学序論及び公衆衛生学序論をはじめ、健康の三本柱といわれる「栄養」「運動」「休養(本講義ではストレスから疲れた心の休養)」の公衆衛生学的内容を習得する。			(1)○			
23262	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	学校保健学	戎 利光	体力低下、柔軟性低下、筋力低下などをはじめ、肥満、貧血、生活習慣病、無理なダイエットなど最近の子どものからだの健康問題に関して、栄養、運動、ストレスとの関わりについて幅広く論述する。	(1)体力低下、柔軟性低下、筋力低下などをはじめ、肥満、貧血、生活習慣病、無理なダイエットなど最近の子どものからだの健康問題を科学的に理解する。 (2)それぞれの健康問題の原因や予防法などを生理学的に習得する。			(1)○		(2)○	
23265	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	保健基礎	戎 利光	体力低下、柔軟性低下、筋力低下などをはじめ、肥満、貧血、生活習慣病、無理なダイエットなど最近の子どものからだの健康問題に関して、栄養、運動、ストレスとの関わりについて幅広く論述する。	(1)体力低下、柔軟性低下、筋力低下などをはじめ、肥満、貧血、生活習慣病、無理なダイエットなど最近の子どものからだの健康問題を科学的に理解する。 (2)それぞれの健康問題の原因や予防法などを生理学的に習得する。			(1)○		(2)○	
23281	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	体操	水沢 利栄	各種の移動運動、「手具を用いた運動」や「固定器具による運動」、「ラジオ体操」、「集団行動」を対象として、身体各部位の位置関係、手具と身体との位置関係、固定器具と身体との位置関係、他者と自分の位置関係を正確に把握することによって、効率の良い身体運動の実践方法についての理解を深め、運動技能を高めると共に、将来、体育教員としての指導方法について学習する。	1. 個人の身体で正確な運動をすることについての認識と技能を深める。 2. 他人の身体と自分の身体との位置関係と安全な運動についての認識と技能を深める。 3. 多人数で正確、かつ安全に運動をする方法の認識と技能を深める。	○	○	○	○	○	△
23300	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	球技 I	水沢 利栄	サッカー競技を中心にラグビー等フットボール系の種目の基本的理論と技術の習得を目的に個人技術から集団技術まで段階的に基本技術の練習とゲームとを組み合わせて学習し、小・中・高校における授業の指導者としての基礎を築く。実技授業の展開は、①ボールコントロール、②攻守の基本、③戦術、等様々な課題を組み合わせて毎時間変化を持たせる。また理論として、①サッカーの特性、②歴史と現状、③ルールと審判法、④安全な管理・運営等について理解を深める。各自に課題を与え理論、指導法の理解を深める。	・毎週の授業において模擬的な授業が担当できる。 ・簡易なゲームの審判を担当できる。 ・実技能力の目安としてボールリフティングが男子は24回以上、女子は12回以上できるようにする。	○	○	○	○	○	○
23301	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	球技 II	福垣 良介	バレーボールを中心に、「ネット型」ボール運動の基本的な理論と技術を習得するとともに、児童・生徒に対する授業者としての基礎を築く。	・バレーボールの基本的な技能が習得できる ・審判法が理解でき、実際に主審を行う事ができる ・バレーボールの起源や理論について理解できる			○	◎	○	○
23320	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	剣道	宗倉 啓	保健体育科の教師として、剣道に関する基礎的な技能及び学習指導の原則的事項を習得する。	1. 剣道に関する基本的技能を習得する。 2. 剣道に関する試合の運営・審判法を習得する。 3. 安全に関する知識と方策を習得する。 4. 学習指導に関する基本的原則を習得する。	1○ 3◎	2○ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎	1○ 2◎ 3◎ 4◎	1○ 2◎ 3◎ 4◎	1◎ 2◎ 3◎ 4◎
23321	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	柔道	水沢 利栄	柔道の基礎的な技能を習得するとともに、日本の伝統的文化でもある武道を理解し、礼節を重んじたり相手思いや心を養う。併せて、講道館柔道の初段または一級取得に必要な知識や技能の習得を目指す。	安全な柔道指導ができる技能と知識を身につける。 簡易ルールによる試合の審判ができるようにする。 講道館柔道の初段もしくは一級を取得できるようにする。	○	○	○	○	○	△
23340	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	キャンプ	水沢 利栄・宗倉 啓	野外活動の指導に必要な知識と技術を身につけることを目標に夏季休業中に4泊5日のテント生活によるキャンプを行う。少人数による班を行動の基本として、野外炊事、自然観察、レクリエーション・ゲーム、海浜活動、創作活動等を内容とする。 実践を通して、安全で効果的な計画の立て方、野外活動の指導者、カウンセラーの役割、集団行動、環境教育等について学習する。	キャンプを中心とした野外活動について、小中高校生のキャンプ活動の問題点や社会体育におけるキャンプ運営の問題点の特に運営に専門的にかかわる事項について実践を通して学習する。 安全に留意した行動がとれるとともに指導者としてキャンプに必要な保険や安全対策、キャンプのための救急法と応急処置(AEDを含む)の知識と技能を身につける。	○	○	○	○	○	△
23341	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	スキー	田中 秀一・水沢 利栄	2名の教員が実技では技能別に2班を構成する。(各教官担当時間数、30時間) 冬季野外活動としてのスキーを総合的に学習する。スキー理論としては、スキー運動の技術特性、スキー技術の体系、スキーと安全などを講義する。また実技としては基礎技術と基本姿勢の習得、および基礎回転技術のブルークローゲン、シュテムターン、パラレルターンおよびステップターンの技術の習得を目指す。またスキー技能のレベルを考慮したスキー指導法の習得も併せて行う。	児童、生徒を楽しく安全に指導できるスキー技能の習得、さらに事前の準備、実技指導における安全確保、万一の事故に対応できる救急法と事故への対応方法等に関する基本的な対応ができる能力を身につける。	○	○	○	○	○	△
23386	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	球技方法学	水沢 利栄	サッカーを中心とした球技についての基本的な知識と実技を身につけるとともに球技の学習指導法についての原理や指導の実践的成果について学習する。併せて指導の安全性を高める方法について学習する。	小学校、中学校、高校の体育の授業において、サッカーを教材として指導できる実技の能力とともに、リーグ戦やトーナメント戦を運営したりする方法、楽しく、且つ安全に配慮できるような能力を身につける。 また近年安全面で留意しなければならない事項に関しての知識を獲得する。	○	○	○	○	○	△
23387	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	武道方法学	宗倉 啓	学校剣道の指導者としての資質を高めるために、以下の内容について調査・検討する。 ①剣道授業の実態、②剣道の特性とスキルの特質、③学習者のつまづき、④授業の目的・内容の設定、⑤指導法のあり方、⑥評価のあり方	指導者の立場から、剣道という素材の教育的意味と指導のあり方について認識を得る。また、調査やプレゼンテーションの方法についても工夫する。	◎	○	◎	○	○	◎
23388	教科専門科目 (中学校教科 保健体育)	スキー方法学	水沢 利栄・田中 秀一・田中 秀一・山田 孝禎	スキーの指導法を中心に実技と演習を行う。 アルペンスキーの特性、スキーの知識と技術、技術の流れ、指導の流れ、スキー学習内容と学習過程、小学校の学習指導展開例、中学校の学習指導展開例、高等学校の学習指導展開例、スキー学習の運営方法と安全確保の方法などを理解し、スキーの学習指導法を総合的に学習する。 また、スノーボードの初級の指導法について理解する。	スキーは福井県においては身近なスポーツであるが安全に配慮した指導が要求されるスポーツである。スキーの基本的な指導法に関する知識と実技指導の能力を身につけて、児童、生徒に初歩的な指導ができる能力とスキー行事の運営が担当できる力を身につける。	○	○	○	○	○	△

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎=DP達成のために特に重要な事項、○=DP達成のために重要な事項、△=DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達への支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
23400	教科専門科目 (中学校教科家庭)	食品学	村上 亜由美	私たちは日常生活で様々な食品を口にしている。食品に期待される役割には、栄養機能(一次機能)、嗜好性機能(二次機能)、生体調節機能(三次機能)があり、これらは食品を構成する様々な成分によって支えられている。この授業では、具体例を挙げながら食品および食品成分の特徴や役割を学習する。そして日常生活で摂取する食品に改めて目を向けることで、上手な付き合い方・適切な取扱いを学ぶ。	食品学の専門知識を身につける。例えば、必要な栄養素を摂取するために選択すべき食品は何か、「美味しさ」を左右する味・香り・色などを決める成分は何か、「体に良い」と言われる食品はなぜ良いと言えるのか?などについて、具体例をふまえながら学習・修得する。また加工・保存中の食品成分変化を学び、食品劣化や食中毒を防ぐ調理方法や保存方法を学ぶ。以上を通して、身近な食品への理解力と判断力を高める。	○		◎			
23401	教科専門科目 (中学校教科家庭)	栄養学	村上 亜由美	ヒトが生命を維持するためには、食物から必要な栄養素を適正量摂取しなければならない。食物に含まれる栄養素の体内での役割や意義、栄養素の消化吸収および体内代謝など、栄養学に関する基礎的な内容の習得をめざす。	食物に含まれる栄養素の体内での役割や意義、栄養素の消化吸収および体内代謝など、栄養学に関する基礎的な知識を習得する。	○		◎			
23402	教科専門科目 (中学校教科家庭)	調理実習	村上 亜由美	グループ実習により、食品衛生に留意して、提示された献立(日本料理、中国料理、西洋料理)を調理する。また、盛り付けやテーブルコーディネートにも配慮した、季節感のある豊かな食卓について考える。基礎的な調理技術の向上と、科学的な視点に基づく献立作成及び調理のできる能力を養う。	盛り付けやテーブルコーディネートにも配慮した、季節感のある豊かな食卓について考えることができる。基礎的な調理技術を向上させ、献立作成及び調理のできる能力を養う。衛生的な食品の扱い方、及び基礎的な調理技術を習得する。	○	△	◎			
23403	教科専門科目 (中学校教科家庭)	食物学実験	村上 亜由美	実験器具の操作方法、実験データの扱い方、実験レポートの書き方など化学実験の基礎的な技能の習得を目的とする。また、食品学、栄養学で学んだ知識を実験によって確認し、理解を深める。	実験器具の操作方法、実験データの扱い方、実験レポートの書き方など化学実験の基礎的な技能の習得する。安全で正確な化学実験の手法を習得し、基礎的な食品分析法を理解する。	○		△	◎		
23404	教科専門科目 (中学校教科家庭)	食品製造学実験	村上 亜由美	加工食品を手作りすることを通して、実験科学の立場から食品加工の原理を具体的に学ぶこと、及び調理基本操作および食品の調理性について科学的に分析することを目的とした実験及び実習を行う。また、官能検査を実施し、おいしさの評価法について学ぶ。	加工食品を手作りすることを通して、実験科学の立場から食品加工の原理を具体的に学び、食品加工、及び調理科学実験の理論と手法を習得する。	○		△	◎		
23405	教科専門科目 (中学校教科家庭)	応用食品学	村上 亜由美	様々な食品の成分と、調理の諸条件や調理過程における食品の変化を科学的な視点で理解できる知識を習得する。また、食中毒を防止するための食品衛生に関する知識を習得する。	様々な食品の成分と、調理の諸条件や調理過程における食品の変化を科学的な視点で理解できる知識を習得する。また、食中毒を防止するための食品衛生に関する知識を習得する。	○		◎			
23406	教科専門科目 (中学校教科家庭)	栄養学演習	村上 亜由美	輪番制で、学術雑誌等の栄養学及び食生活に関する最新の学術論文を選び、その内容及び関連事項について調べ、レジュメにまとめて発表していく。内容を理解するだけでなく、学術論文の構成について理解し、自らの卒業論文の作成に生かすことを目的とする。	学術雑誌等の栄養学及び食生活に関する最新の学術論文を精読し、その内容及び関連事項について調べ、内容を理解する。また、学術論文の構成について理解し、自らの卒業論文の作成に生かすことができる。	○		◎		◎	
23407	教科専門科目 (中学校教科家庭)	食文化論	村上 亜由美	人間は、ただ栄養素を摂取しているのではなく食品を選択して食べている。そこには、個人的な嗜好や生体的・経済的条件が働いて、地域の自然的・社会的・経済的、そして文化的な因子が関わっている。これら食生活を成立させている様々な要因についての知識を習得するとともに、食文化の多様性について理解を深める。	食生活を成立させている様々な要因についての知識を習得するとともに、食文化の多様性について理解を深める。食に関わる社会環境、文化などの知見を広げる。	○		◎			
23420	教科専門科目 (中学校教科家庭)	衣生活論	服部 由美子	生活環境の中で被服を着用する目的とその機能を明確にした上で、被服の起源と変遷、被服素材、被服の構成、既製衣料、繊維製品の表示、管理などを取り上げて、衣生活の現状と課題について概説する。	人と衣服とのかわりについて科学的に理解を深め、衣生活に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、活用することができる。	○		◎		△	△
23421	教科専門科目 (中学校教科家庭)	被服構成学	服部 由美子	平面状の柔軟な素材を用いて、複雑な曲面をもちしかも動作により体形が変化する人体に、適合・適応させるには、被服をどのように設計・製作すればよいか、科学的に考察する。特に、被服設計については被服材料の性質と曲面形成、人体の構造と人体計測、平面構成と立体構成、被服製作については原型とパターンの展開などを取り上げて解説する。	被服をどのように設計・製作すればよいか、被服に用いられる素材の種類と特徴、人体の形態、着装方法について科学的に理解できるようになる。	△		○	◎		○
23422	教科専門科目 (中学校教科家庭)	被服学実験	服部 由美子	被服を科学的に考察する力を養うために、被服材料である繊維・糸・布の性能に関する基礎実験、シーム・バックリングなどの縫製に関する実験を行う。また、環境条件と衣服内気候の測定を行う。	実験を通して、繊維・アパレル製品を中心に衣生活について科学的に理解を深め、評価する方法を身につける。	△		○	◎		△
23425	教科専門科目 (中学校教科家庭)	被服学演習	服部 由美子	家庭科用教科書の中で扱われている教材、あるいは日常生活のなかで利用されている繊維・アパレル製品に関する課題を通して、被服の設計・製作過程における素材物性に応じた布の扱い方やコンピュータの活用方法などについて、検討する。	衣生活の現状と課題について理解を深め、資料を分析、評価する方法を身につける。	△		○	◎		○
23427	教科専門科目 (中学校教科家庭)	被服管理学	宮崎 孝司, 廣垣 和正, 堀 照夫	家庭科コースを目指す学生に対し、被服の管理の方法について詳細に講義する。	被服管理の在り方について習得する。	◎		◎		△	△
23423	教科専門科目 (中学校教科家庭)	被服製作実習Ⅰ	服部 由美子	被服を構成するために必要な縫製の知識と基礎技術を習得する目的で、並縫い・返し縫い・しつけ・まつり・千鳥がけなどの手縫い、ミシン縫いによる直線縫い・曲線縫い、各種縫い代・折り代の始末、ボタンつけとボタンホールのはり方、及びこれらの技術を応用した小物の製作を行う。また、上衣と下衣の構造とその組み立て方を理解するために、シャツとパンツを取り上げ、採寸・製図・しつけ・裁断・縫製・仕上げに関する実習を行う。	主として洋裁に関する基礎的・基本的技術を理論的に理解し、針と糸と布を用いて生活に役立つ物を作ることができるようになる。	△		○	◎		△
23424	教科専門科目 (中学校教科家庭)	被服製作実習Ⅱ	服部 由美子	和裁における裁縫用具と基礎の技術として運針、糸の結び方、糸の継ぎ方、糸の留め方、縫い方、袂の掛け方、衿付け方を理解したうえで、手縫いにより単衣長着の製作と着装の実習を行う。また、平面構成被服と立体構成被服の代表である和服と洋服の構成上の違いを理解するために、タイトスカート(またはエプロン)の製作も行う。	単衣長着の構成と製作を通して、和裁の基礎的・基本的な知識と技術を身につける。また、ダーツとベンツを取り入れた被服製作を通して、平面構成と立体構成の違いを理解できるようになる。	△		○	◎		△
23441	教科専門科目 (中学校教科家庭)	生活保健	竹内 恵子	「学生の目標」参照	・月経/生殖のメカニズムについて基本的な知識の習得をめざす。 ・医療の発達と周産期医療の現状、先天性障害について理解する。 ・児童生徒を中心とした病気の病態や看護、治療、予防について理解する。			○		◎	
23442	教科専門科目 (中学校教科家庭)	保育学実習	竹内 恵子	「学生の目標」参照	家庭教育のなかの1分野として「保育」があり、生活科学教育コースにおいても系統だった保育学関連の講義が開講されている。しかしほとんど乳幼児と接触することがないため、実際の保育のイメージが持ちにくいと考えられる。このギャップを少しでも埋めること、また講義では知り得なかった保育現場の現状を知ることを実習を通して理解することを目標とする。		△		◎		◎
23444	教科専門科目 (中学校教科家庭)	保育学演習	竹内 恵子	「学生の目標」参照	保育に関する研究テーマを自ら見だし、研究計画をたて研究をすすめていくことができる。			○			
23440	教科専門科目 (中学校教科家庭)	保育学Ⅰ(実習を含む)	竹内 恵子	「学生の目標」参照	小学校以後の教師として学童以後の子どもの育ちをささえるために、乳幼児期の発達および学校保健の概要を理解する。			◎		◎	
23443	教科専門科目 (中学校教科家庭)	保育学Ⅱ	竹内 恵子	「学生の目標」参照	現代の子どもや親のおかれている環境について広く深く現状を把握し、課題を見いだして調査や討論を行い考察を深めていく力を身につける。			○			○

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達への支援	6. 学識形成の足跡を示す学習成果の公開
23462	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	住環境デザイン実習 I (住居計画)	柳川 奈奈	住まいと暮らしの関係について理解を深めるとともに、現在の暮らしが抱える問題点から、これからの住環境について考え、未来の住まい・住環境についてデザインする。ステップによる設計体験を通じて、製図に関する基本的な知識を習得する。住居計画を行う上で重要となる住居の構成要素について体験を交えながら理解し、住まいづくりにおける総合的視野を養う。	住まいづくりのプロセスを体験することで、住居・住環境計画がどのような要素によって計画・構成されているかを理解する。住まいの設計を通じて、立体感覚・空間感覚を体得し、自分自身の暮らし・環境をデザインする力を養う。自らが考えたこと、製図により表現し、デザインしたものをプレゼンテーションし他者へ伝える力を身につける。	○		◎			
23464	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	住居学演習	柳川 奈奈	住環境デザイン実習 I にて行った「住まいの設計」の体験をもとに、「住居の構成要素」に対するさらなる知識を深める。さらに、つくる視点からだけでなく、今ある環境を積極的に活用していく視点を重視し、「住居」を生活環境・社会環境・地球環境をつくり出す道具として捉え、これからの住み方・暮らし方を考察・デザインし、自らが環境をつくりだしていくことの大切さ、環境に対して低負荷な暮らしのあり方を学ぶ。	環境に対して低負荷な暮らしのあり方とその基礎知識を学び、自ら環境をつくりだしていく姿勢を体得する。テーマに応じた体験・実験・実践から、住み手として必要な知識を身につけ、学びへと発展させる力を養う。デザインを行う協働作業の中で、様々な智恵を出し合い、とりまとめていくプロセスを体験し、授業指導の力を養う。「私の住み方プロジェクトブック」を作成することにより、将来の住環境教育教材づくりの基盤をつくる。	○		△	◎		
23460	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	住生活論(製図を含む)	内山 秀樹	住まいは、人間にとって最も基本的な生活空間であり、一生のうち最も多くの時間をここで過ごしている。住まいの良し悪しは、心身の健康はもとより、子供の成長発達や家族生活の安定、高齢者の自立など、安心・安全な生活に深く影響する。この講義では、すまいを「眠る」、「食べる」、「着る」、「入浴・排泄」などの生活行為の視点で学び、よき住まい手、ひいては住まいの設計者としての理解や知識を深める。	住まいは生きていくうえで単なる器ではない。単に知識を取得するという姿勢でなく、これからの自分の人生をイメージしながら人や家族が成長する上で、また心豊かに暮らし続けるための最も身近で重要な環境であることの理解を深める。また、教職を目指すものにとっては、児童、生徒にも伝えることができるよう十分な理解を深めることを期待する。	△		◎		△	○
23480	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	家庭経営学	高田 洋子	各種家計調査について知るとともに、生活の諸課題について生活経済の面からみる方法について学ぶ。私たちの生活を相互にあるいは社会的に支えるための理念と政策的な課題を検討する。	生活を経済の面からみる方法について学ぶ。現代日本社会の生活の特徴と、生活保障に関わる基本的な概念や理念また政策課題を理解できる。持続的な社会を構想する上で私達に課せられた基本的課題群を理解できる。	○		◎			
23481	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	家庭経営学演習	高田 洋子	現代社会における生活上の諸課題を取りあげて、文献講読を行い、ゼミでの話し合い等によって考察検討を行う。また実際の地域課題について調査などを通し考察を深める。	生活上の諸課題について考えを深めるとともに、その課題解決について考えることができる。	○		◎			○
23482	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	家族関係(乳幼児と家族)	竹内 恵子	「学生の目標」参照	乳幼児期の親子関係の基本的な理解をすするとともに、近年問題になっている家族の問題等についての理解を深める。					◎	
23483	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	住生活論	内山 秀樹	住まいは、人間にとって最も基本的な生活空間であり、一生のうち最も多くの時間をここで過ごしている。住まいの良し悪しは、心身の健康はもとより、子供の成長発達や家族生活の安定、高齢者の自立など、安心・安全な生活に深く影響する。この講義では、すまいを「眠る」、「食べる」、「着る」、「入浴・排泄」などの生活行為の視点で学び、よき住まい手、ひいては住まいの設計者としての理解や知識を深める。	住まいは生きていくうえで単なる器ではない。単に知識を取得するという姿勢でなく、これからの自分の人生をイメージしながら人や家族が成長する上で、また心豊かに暮らし続けるための最も身近で重要な環境であることの理解を深める。また、教職を目指すものにとっては、児童、生徒にも伝えることができるよう十分な理解を深めることを期待する。	△		◎		△	○
23484	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	住環境デザイン実習 I (住居計画,製図を含む)	服部 由美子	住まいと暮らしの関係について理解を深めるとともに、現在の暮らしが抱える問題点から、これからの住環境について考え、未来の住まい・住環境についてデザインする。ステップによる設計体験を通じて、製図に関する基本的な知識を習得する。住居計画を行う上で重要となる住居の構成要素について体験を交えながら理解し、住まいづくりにおける総合的視野を養う。	住まいづくりのプロセスを体験することで、住居・住環境計画がどのような要素によって計画・構成されているかを理解する。住まいの設計を通じて、立体感覚・空間感覚を体得し、自分自身の暮らし・環境をデザインする力を養う。自らが考えたこと、製図により表現し、デザインしたものをプレゼンテーションし他者へ伝える力を身につける。			○		◎	
23500	教科専門科目 (中学校教科 家庭)	家庭機械及び電気	塚本 充,石川 和彦	電気についての基礎事項を理解したうえで、家庭内で使用される機械類(主に電気機器)の動作原理、機能、使用上の留意事項、およびふだんの手入れと「季節もの」の使い始めとしまよときの手入れを自ら考えたうえで理解する。さらに、家庭用電気機器類の安全で環境に優しい使い方を習得し、自身が教壇に立つて教えるときのポイントを理解する。	家庭機械、および電気・電気機器について理解する。			◎		○	
23600	教科専門科目 (中学校教科 技術)	技術科総合研究	塚本 充,奥野 信一, 石川 和彦,齋田 一夫	授業の中で指示する。	授業の中で指示する。			◎			○
23641	教科専門科目 (中学校教科 技術)	金属材料学	未定	担当者未定につき、カリキュラムマップ非公開希望							
23662	教科専門科目 (中学校教科 技術)	流れ学基礎	未定	担当者未定につき、カリキュラムマップ非公開希望							
23664	教科専門科目 (中学校教科 技術)	機械工学実験Ⅱ	未定	担当者未定につき、カリキュラムマップ非公開希望							
23680	教科専門科目 (中学校教科 技術)	電気工学基礎	塚本 充	エネルギー変換の電気分野について、基礎的な知識を身につけて、技術科教員として、指導できるための素地を固める。	電気分野の基礎的能力を身につける。			◎			
23681	教科専門科目 (中学校教科 技術)	電子工学基礎	未定	担当者未定につき、カリキュラムマップ非公開希望							
23682	教科専門科目 (中学校教科 技術)	電気・電子計測	未定	担当者未定につき、カリキュラムマップ非公開希望							
23683	教科専門科目 (中学校教科 技術)	電気工学基礎実験 (実地見学を含む)	石川 和彦,塚本 充	電気回路、電子回路に関わる実験を通して、電気の理論的な基礎知識の確認と、実験スキルを身につける。結果のまとめ方や考察方法についても学ぶ。	技術を指導する教員としての知識の確認とスキル向上を目指す。			○	◎	○	
23720	教科専門科目 (中学校教科 技術)	計算機利用基礎演習	塚本 充	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養と実際に運用できる基本的な能力を身につけること。	情報の概念、情報機器の基本操作などに関して、基礎的な素養を身につけ、スキルアップすること。			○	◎		
23721	教科専門科目 (中学校教科 技術)	計算機利用応用演習	塚本 充	情報科学全般の知識を活かして、安定した情報システムを構築・運用できる実務的な能力を身につけること。	コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、そしてネットワークに関するやや高度な実習を通して、実践的なコンピュータ設定・運用能力を身につけること。			○	◎		
23722	教科専門科目 (中学校教科 技術)	知識情報処理	塚本 充	知識情報処理や人工知能の概念と基本的考え方を理解し、種々の研究領域や事例について知識を整理すること。	知識情報処理に関して、一連の研究について知見を得て、卒業研究に結びつける。			◎			

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項						
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援することができる	6. 学識形成の足跡を示す学習成果の公開	
23723	教科専門科目 (中学校教科技術)	コンピュータネットワーク概論	塚本 充	高度情報化社会のなかでコンピュータネットワークの重要性はますます増している。このような状況の下、コンピュータネットワークの基本と概念を知り、自己で設定できるスキルは重要である。本授業では、コンピュータネットワークの基本的な知識とスキルを身に付けることを目的とする。	コンピュータネットワークの基本が理解でき、自己でネットワーク設定ができる。			◎				
23724	教科専門科目 (中学校教科技術)	プログラミング言語	塚本 充	コンピュータの動作と処理の理解を深めるためにもコンピュータプログラミングは重要であるが、種々のプログラミング言語が利用されている現状を踏まえ、本講義では、「情報基礎」「計算機利用基礎演習」「総合情報処理」で学んだBASICやC言語の知識をもとにして、そのほかの比較的広く使われているプログラミング言語を扱い、それぞれの相違点等を見極め、より高度なプログラミングのスキルを身につけることを目指す。	種々のプログラミング言語に関して、基礎的な素養を身につけること。			◎				
23807	教科専門科目 (中学校教科社会)	古文書学Ⅰ	長谷川 裕子	古代・中世文書の様式を理解し、さらに文書の書き手・受け手の立場をふまえ、一つの史料を取り巻く社会状況や歴史的事項についての認識を深める。	古文書様式論を理解し、史料を「読み解く」技術を習得する。	◎		○				
23808	教科専門科目 (中学校教科社会)	古文書学Ⅱ	長谷川 裕子	日本中世・近世文書の原本を読み、くずし字を読む能力を高めるとともに、一つの史料からみえてくる歴史的事実や社会状況についての理解を深める。	調査・フィールドワークの際に必要な古文書を読む能力を養い、歴史叙述のための基礎的な技術の習得を目指す。	◎		○				
23809	教科専門科目 (中学校教科社会)	日本史特講(地域史)	木村 亮,長谷川 裕子	前半の授業(長谷川)では、中世から近世における福井の政治・社会状況について、越前を中心に概説する。特に越前を代表する戦国大名朝倉氏や奥平家、また福井藩越前松平家などを取り上げ、その領域支配の特質と人々の生活について理解することを目的とする。後半(木村)では、幕末から現代までの福井の政治・社会、および福井の主要産業であった絹人絹織物業の発展とそれとよりくずし字について概説する。	現在の福井県域の中世・近世の政治・社会構造、および近・現代の政治・経済の基礎的な知識を習得する。	◎		○				
23810	教科専門科目 (中学校教科社会)	日本史演習A	長谷川 裕子	日本中世・近世に関わる史料の講義を通じ、史料読解力を養い、歴史研究の方法を学ぶとともに、受講生各自が研究テーマを設定して報告する。	史料に記された内容についての調べ方および史料を正確に解読する能力や、研究テーマを設定して歴史研究を進める方法の習得を目指す。			○		◎		
23811	教科専門科目 (中学校教科社会)	日本史演習B	長谷川 裕子	日本近世・近代に関する史料講義を通じて史料読解力を養うとともに、日本史研究文献の講義を通じて現段階での日本史学の研究課題を見出す。	史料講義の方法や史料を正確に解読する能力と、研究文献を批判的に読む能力の習得、および受講者自身が関心のある研究課題を設定し、研究報告や論文執筆を行う能力の習得を目指す。			○		◎		
23803	教科専門科目 (中学校教科社会)	日本古代史	長谷川 裕子	日本古代史に関する基本的な知識を養う。特に、東アジア世界のなかで「日本」が形作られてくる過程や、その後により作り出されてくる政治・支配制度を理解するとともに、そこに生きた人々の暮らしについて考える。	日本古代史における「日本」が、現代の日本国の枠組みそのものではないことを理解し、均質・単一な「日本人」、閉鎖的・孤立的な「島国社会」という認識の転換を目指す。			○		◎		
23804	教科専門科目 (中学校教科社会)	日本中世史	長谷川 裕子	日本中世史に関する基本的な知識を養う。特に、武家政権の成立と展開を中心としながら、政権交代の要因を、戦争・災害・飢饉や、それともなう展開する荘園の変質や惣村の形成などの民衆の動向とから考えて考える。	厳しい中世社会の実像と、そこに生きる人々が自らの力で社会の仕組みや政権そのものを転換させていく動きをみることで、歴史の多様性を認識し、歴史を「考える」力の習得を目指す。			○		◎		
23805	教科専門科目 (中学校教科社会)	日本近世史	長谷川 裕子	日本近世の政治過程や社会状況、基本的な知識を押さえ、近世社会の歴史的段階・特質を理解する。	日本近世史の展開過程を学び、基礎的な知識を身につけるとともに、近世社会に生きる人びとの視点から歴史を追究することで、歴史の多様性を理解することを旨とする。			○		◎		
23806	教科専門科目 (中学校教科社会)	日本近代史	長谷川 裕子	明治維新からアジア・太平洋戦争までの日本近代史の政治過程を押さえ、近代社会の歴史的段階・特質を理解する。	日本近代史の展開過程を学び、国民国家の特質や、国家間戦争が起こる仕組みに関する基本的な知識の習得と、近代を生きた人びとの動きから歴史を「考える」力を養うことを目指す。			○		◎		
23845	教科専門科目 (中学校教科社会)	地域史実践研究	木村 亮,長谷川 裕子	文書館と大学が連携し、福井県の社会科教員を志望する学生(大学院生)が、文書館業務のサポートを行い、古文書の取り扱いや利活用の仕方を体験的に学習することで、学生の文書館利用の増加を図る。また、学生自身が、将来教壇に立ち教科指導をすることを覚え、現物資料に実際に目で見えてふれる機会を通じて、郷土の歴史に対する知見を深め、効果的な郷土資料の用い方や学校外の文化機関との連携について実践的に探究することをねらいとする。	地域史料の宝庫である福井県文書館の仕事の体験と、所蔵史料の活用を通して、卒業研究作成および地域教材の作成に役立つ知識やノウハウを身につけるとともに、人前で調査内容を発表、説明することで調査・プレゼンテーション能力を身につける。	◎		○			○	
23900	教科専門科目 (中学校教科社会)	法学概論	生駒 俊英	何故、法(法律)が必要なのか?法(法律)の役割とは?といった抽象的なものから始め、最終的に具体的な法律について学び、法的なものの方を身につけてもらいたい。最初、法律の基礎知識として、法律とはどのようなものか、現在の日本の法体系、裁判体系について触れていく。その都度、「裁判員制度」といった現在のトピックについても触れていきたい。一般的・抽象的な議論はできるだけ少なく、身近な問題を取り上げ、分りやすく生きた法学を学んでもらいたい。	実際に生活していて、法との関わりを判断できるようになる事を目標とする。			○		○		
23901	教科専門科目 (中学校教科社会)	政治学概論	横井 正信	日本国憲法の下での国会と内閣は、議院内閣制の典型とされるイギリスや、大統領制と三権分立の徹底を基礎としたアメリカと比べて、期待される機能を十分な機能を果たしていないと批判されてきた。しかし、実際には、統治機構の中で立法府と行政府が果たしている機能と役割にはそれぞれの国の歴史や文化を背景とした差異があり、両者の間の関係も必ずしも同一ではない。本講義では、比較政治制度論的視点から主要先進諸国の立法府と行政府の機能をめぐる様々な議論を紹介し、そのような議論の中で日本の立法府と行政府にどのような特徴と問題点があるかとされてきたのかを、両者の関係に注目しつつ概説する。	日本を含む先進諸国の統治機構の基本的な原理及び構造と実際の機能過程を理解した上で、現代日本の統治機構の特徴と問題点に関する基本的知識を習得することを目標とする。			○				
23905	教科専門科目 (中学校教科社会)	民法Ⅰ(総則)	生駒 俊英	民法1(総則)は、民法第1編総則を指す。民法総則は、主に民法2(財産法)における物権、債権に共通するルールを定めたものである。講義では、例をあげつつ興味を持てるような授業をこころがけ、主体的に物事を考えられるようにしたい。	民法の枠組みを理解し、我々の生活とどのように関連しているかを理解できるようになる。			○		○		
23906	教科専門科目 (中学校教科社会)	民法Ⅱ(財産法)	生駒 俊英	民法2(財産法)は、民法第2編物権、第3編債権を内容として含んでおり、我々が生活する上で最も身近な法律の一つであると考えられる。例えば、土地購入の際の所有権関係や、契約といった法律行為について規定している。講義では、例をあげつつ興味を持てるような授業をこころがけ、主体的に物事を考えられるようにしたい。	実際に生活していて、民法(財産法)との関わりを判断できるようになる事を目標とする。			○		○		
23907	教科専門科目 (中学校教科社会)	民法Ⅲ(家族法)	生駒 俊英	家族法は、民法第4編親族、第5編相続を内容として含んでおり、我々が生活する上で最も身近な法律の一つであると考えられる。例えば、親子関係や、婚姻の際に必要な要件等に関する事柄を規定している。講義では、例をあげつつ興味を持てるような授業をこころがけ、主体的に物事を考えられるようにしたい。	実際に生活していて、民法(家族法)との関わりを判断できるようになる事を目標とする。			○		○		
23909	教科専門科目 (中学校教科社会)	刑法	生駒 俊英	刑法とは犯罪と刑罰について定めた法のことをいう。この授業では、まず、刑罰制度の意義とそれを科すための手続(刑事政策及び刑事手続法)について簡単にみただけで、犯罪の成立要件(一般に「刑法」という法律科目で講義されるのはこの部分である。)を見ていくことになる。講義の中心的内容は刑法解釈論となるが、そのような作業が、現実社会においてどのような意味を持つのかについても、同時に意識していくことになる。	1. 犯罪と刑罰について、法的観点を交えて考察することができる。 2. 犯罪がどのような場合に成立し、どのような場合に成立しないのかを法的に検討する具体的手順がイメージできる。			○		○		

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎=DP達成のために特に重要な事項、○=DP達成のために重要な事項、△=DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達への支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
23912	教科専門科目 (中学校教科社会)	政治行動論	横井 正信	民主主義的な決定の基本原則は多数決であるが、実際には多数決には様々な理論的矛盾が存在することが知られている。本講義では、集合的決定論から得られる知見を手がかりに、民主主義の基本的前提となっている多数決をめぐる様々な理論的諸問題を考察することを通じて、政治的決定をめぐる有権者や政治家の行動と政治参加に関する理論的な基礎的知識を修得することを目標とする。	多数決の様々な方法とモデルを学習することを通じて「公正な決定」を実現する困難さを理解した上で、民主主義的な決定方法とそこに至るプロセスを考えるための基礎的な理論的知識を修得することを目標とする。			○			
23913	教科専門科目 (中学校教科社会)	国際政治学	横井 正信	1951年にサンフランシスコ講和条約と同時に締結され、1960年に改定された日米安全保障条約は第二次世界大戦後の日米関係及び日本の外交・安全保障政策の根幹をなしてきた。しかし、他方で日米関係を含む日本を取り巻く現在の国際関係は日米安保条約が締結された当時とは大きく異なるものとなっている。本講義では、現在もなお日本の外交・安全保障政策の基本的構成要素となっている日米安保体制の形成とその後の変容の歴史をたどることを通じて、現代の日米外交をめぐる基本的諸問題に対する理解を深めることを目標としている。	第二次世界大戦後の日本の外交・安全保障政策史を学習することを通じて、現代日本の外交・安全保障政策規定している諸要因に関する基本的理解と知識を修得することを目標とする。			○			
23917	教科専門科目 (中学校教科社会)	法学演習Ⅱa	生駒 俊英	講義で理解した知識を利用して問題を解くことにより、より深い法的知識とする。	卒業論文作成に向けてのテーマの選択。			○		○	
23918	教科専門科目 (中学校教科社会)	法学演習Ⅱb	生駒 俊英	講義で理解した知識を利用して問題を解くことにより、より深い法的知識とする。	卒業論文作成に向けてのテーマの選択。			○		○	
23919	教科専門科目 (中学校教科社会)	政治学演習a	横井 正信	政治学に関する演習問題(主として政治学分野に関して公務員試験に出題される問題)に取り組むことにより、政治制度、政治史、政治思想、理論、政治過程、政治行動等、政治学の様々な領域の専門的文献を理解できる能力を身につけることを目標とする。	政治学がさらにもどのような諸領域に細分化されてるかを把握し、それらの諸領域における基本的諸概念を理解・説明できるようになることを目標とする。			○			
23920	教科専門科目 (中学校教科社会)	政治学演習b	横井 正信	政治学に関する演習問題(主として政治学分野に関して公務員試験に出題される問題)に取り組むことにより、政治制度、政治史、政治思想、理論、政治過程、政治行動等、政治学の様々な領域の専門的文献を理解できる能力を身につけることを目標とする。	政治学がさらにもどのような諸領域に細分化されてるかを把握し、それらの諸領域における基本的諸概念を理解・説明できるようになることを目標とする。			○			
23940	教科専門科目 (中学校教科社会)	社会学概論	伊藤 勇	調査票を用いた社会調査の方法や実際について、調査テーマ設定から報告書作成までの各段階に即して学ぶ。合わせて、社会学における経験的研究の意義や位置を理解する。	調査票を用いた社会調査の方法と実際を学び、他者が行った調査結果を批判的に見ることができるようになるとともに、自分でも簡単な調査票を作ることができるようになる。			◎			○
23946	教科専門科目 (中学校教科社会)	経済政策論	飯田 健志	本講義では、貿易政策と競争政策について解説をおこないます。貿易政策では、自由貿易のメリット、保護貿易政策が支持される理由、企業がダンピング(海外で不当に低い価格で商品販売すること)をおこなう理由について考えます。また、貿易と環境問題との関係についても解説します。競争政策では、企業の価格差別戦略(例:同じ映画を見るので学生と大人では料金が違う)を中心に、独占禁止法の考え方や正当性について解説します。本講義の目標は、経済学の基礎理論に基づいて貿易政策、競争政策、そして身近な経済問題について議論できるようになることです。	本講義を通じて、 1)経済学の考え方を理解すること、 2)経済学の考え方に基づいて身近な経済問題について議論できるようになることを目標とします。	(1)◎ (2)◎	(1)○ (2)○	(1)◎ (2)◎	(1)○ (2)○	(1)○ (2)○	(1)○ (2)○
23950	教科専門科目 (中学校教科社会)	公共政策論	飯田 健志	本講義の目標は、(1)市場に任せておいても望ましい経済状態(ハレト最適)が実現しない、という市場の失敗および、市場の失敗が発生した場合の政府の役割について理解すること、 (2)複数の意思決定者が駆け引きをおこなう状況を分析するゲーム理論の考え方を理解すること、です。市場の失敗については、公共財や環境問題をとりあげ、ミクロ経済学の基礎理論を用いて、政府の役割について理解を深めます。	本講義を通じて、 1)市場の役割、市場の失敗、および政府の役割について理解すること、 2)ゲーム理論の考え方について理解すること、 3)身近な経済問題について、講義で学んだ基礎理論を用いて議論できるようになることを目標とします。	(1)◎	(2)◎	(1)○ (2)○	(1)◎ (2)◎	(1)○ (2)○	(1)○ (2)○
23944	教科専門科目 (中学校教科社会)	経済理論基礎Ⅰ(ミクロ経済学)	飯田 健志	本講義では、消費者行動や企業行動の理論を通じて、経済学の基本的な考え方について解説します。経済学は、人々の生活を豊かにするための学問であり、限りある貴重な資源をいかにしてムダなく配分するか、という問題を考えます。このとき「市場」というものが重要な役割を果たします。講義の主な目標は、「完全競争市場は、効率的な(ムダのない)資源配分を実現する」という市場の役割について、理論的な背景を踏まえた上で理解することです。	本講義を通じて、 1)ミクロ経済学の基礎理論を身に付けること、 2)市場の役割について理解し、身近な経済問題に関して、基礎理論に基づいて議論できるようになること、を目標とします。	(1)◎	(2)◎	(1)○ (2)○	(1)◎ (2)◎	(1)○ (2)○	(1)○ (2)○
23945	教科専門科目 (中学校教科社会)	経済理論基礎Ⅱ(マクロ経済学)	飯田 健志	マクロ経済学は、経済全体の動きに着目し、なぜ景気が良くなったり悪くなったりするのか、なぜ物価は変化するのか、豊かな国がある一方で貧困に喘ぐ国があるのはなぜか、といった疑問を明らかにしようとする学問です。本講義では、これらの疑問に答えるため、国内総生産、雇用率、物価などのマクロ経済変数の決定要因について解説します。マクロ経済変数の決定要因について理解することで、国民生活を安定化させたり向上させたりするための財政政策や金融政策についても議論できるようになります。	本講義を通じて、 1)マクロ経済学の基礎理論(マクロ経済変数の決定要因)を理解すること、 2)マクロ経済学の基礎理論を用いて、国民生活を安定化させたり向上させたりするための財政政策や金融政策について議論できるようになること、を目標とします。	(1)◎	(2)◎	(1)○ (2)○	(1)◎ (2)◎	(1)○ (2)○	(1)○ (2)○
23955	教科専門科目 (中学校教科社会)	経済学演習Ⅱa	飯田 健志	経済データを入手しグラフや表を作成することで、データの情報を読み取り、身近な経済問題や日本経済の動きについて考察できるようになることを目標とします。	本講義を通じて、 1)経済データの入手先を把握すること 2)図表の作成の仕方を覚えること 3)作成した図表からデータの情報を読み取ることができるようになることを目標とします。	(1)◎	(3)◎	(2)◎	(1)◎ (2)◎ (3)◎	(1)○ (2)○ (3)○	(1)○ (2)○ (3)○
23957	教科専門科目 (中学校教科社会)	経済学演習Ⅱb	飯田 健志	経済データを入手しグラフや表を作成することで、データの情報を読み取り、身近な経済問題や日本経済の動きについて考察できるようになることを目標とします。	本講義を通じて、 1)経済データの入手先を把握すること 2)図表の作成の仕方を覚えること 3)作成した図表からデータの情報を読み取ることができるようになることを目標とします。	(1)◎	(3)◎	(2)◎	(1)◎ (2)◎ (3)◎	(1)○ (2)○ (3)○	(1)○ (2)○ (3)○
23960	教科専門科目 (中学校教科社会)	社会調査入門	伊藤 勇	社会調査に関する入門的授業として、社会調査の意義、歴史、社会調査の種類、主要な方法と活用法、調査倫理などについて、基本的な知識と理解を得る。その上で、「世論調査」を素材として、調査の実際上の問題、調査結果の読み方、調査の社会的役割などを具体的に理解する。	社会調査に関する基本的な考え方や知識・技法を理解する。			◎			○
23961	教科専門科目 (中学校教科社会)	地域社会学	伊藤 勇	現代日本の農村に関する社会学的研究を紹介・解説し、農村という地域社会に対する基本的視点を獲得する。前半では、「家」と「村」という基礎概念を中心に社会学における農村研究の視点を、後半では、現代農村の変容と課題を講じる。本科目は地域を志向した科目である。	農村社会学の基本視角を理解するとともに、現代の農業・農村問題について基礎的理解を得る。			○		◎	△
23962	教科専門科目 (中学校教科社会)	地域生活研究	伊藤 勇	地域社会における人びとの生活・行動・意識の解明に、質的研究法をどのように活用できるかを講じる。受講生によるインタビューの実地練習も行う。質的研究法の学習としては、調査技法としては質的インタビュー(主に半構造化インタビュー)、分析技法としてはライフストーリー分析について詳しく講じ、基礎的な理解を深めることを目指す。	地域社会における人びとの生活・行動・意識の解明への質的調査法の活用について理解を得るとともに、自分でも質的インタビューなどを実施できるようになる。			○		◎	△
23970	教科専門科目 (中学校教科社会)	現代思想論	坂田 登	哲学者の名前を聞いたことはあっても、その哲学者が何をどう考えたのかは知らないという人は多いでしょう。本講では、世界史や倫理の教科書にも見られる有名な哲学者たちの思想を取り上げ、紹介することにより、受講者ひとりひとりが哲学の基本的な理論や概念をしっかりと理解できるようになることを目指します。	哲学の基本的な理論や概念を理解・説明できること。			○		○	

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達を支援することができる。	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
23971	教科専門科目 (中学校教科 社会)	倫理学概論	坂田 登	哲学・倫理学の基本的な考え方を学ぶ。	哲学・倫理学の基本的な考え方を学ぶ。	○	○	○	○		
23972	教科専門科目 (中学校教科 社会)	比較思想論	坂田 登			○	○	○	○		
23973	教科専門科目 (中学校教科 社会)	ヨーロッパ思想史	坂田 登	古代から現代にかけての社会思想についての理解を深める。	社会科教員として必要な倫理思想、社会思想についての理解を深める。	○	○	○	○		
23974	教科専門科目 (中学校教科 社会)	宗教思想論	坂田 登	宗教というものの本質は何か、またその社会における意味、宗教と教育の関係などについての理解を深める。	宗教というものの本質は何か、またその社会における意味、宗教と教育の関係などについての理解を深める。	○	○	○	○		
23975	教科専門科目 (中学校教科 社会)	応用倫理学	坂田 登	現代社会における新しい様々な問題を、倫理学の視点からどう考えればよいか。生命倫理学、環境倫理学、飢餓問題、動物の権利などに関する倫理学について自ら考え、回答を模索していくことを学ぶ。	現代社会における新しい様々な問題を、倫理学の視点からどう考えればよいか。生命倫理学、環境倫理学、飢餓問題、動物の権利、人権問題などに関する倫理学について自ら考え、回答を模索していくことを学ぶ。	○	○	○	○		
23978	教科専門科目 (中学校教科 社会)	現代思想演習	坂田 登	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	○	○	○	○		
23979	教科専門科目 (中学校教科 社会)	比較思想演習	坂田 登	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	○	○	○	○		
23980	教科専門科目 (中学校教科 社会)	倫理学演習Ⅰ	坂田 登	ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』の講読演習を通して倫理学を深く学ぶ。	ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』の講読演習を通して哲学・倫理学を深く学ぶ。	○	○	○	○		
23981	教科専門科目 (中学校教科 社会)	倫理学演習Ⅱ	坂田 登	ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』の講読演習を通して倫理学を深く学ぶ。	ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』の講読演習を通して哲学・倫理学を深く学ぶ。	○	○	○	○		
23982	教科専門科目 (中学校教科 社会)	日本思想史	坂田 登	今日日本思想の名で呼ばれているもの多くは、外国においてその由来をもっている。しかしそれが、外来思想としてではなく、日本思想として認識されるからには、そこにおいて何かしらの形跡が加えられ、日本思想としてのオリジナリティを付与されているためと考えられる。授業にあたっては、このオリジナリティの具体像に関して、学生とのディスカッションをふまえて、論理化・実体化を試みていくことにしたい。	本授業においては、聴講を終えた学生が「日本思想の特徴に関して一定の知識を持ち、それを他者にも発信できること」を目的に置く。したがって、興味を覚えたことに関して説得力をもって他者に伝えられるよう、知識を整理構成できるようなスキルを授業を通じて身につけていただきたい。	○	○	○	○		
23983	教科専門科目 (中学校教科 社会)	哲学概論	坂田 登	哲学者の名前を聞いたことはあっても、その哲学者が何をどう考えたのかは知らないという人は多いでしょう。本講では、世界史や倫理の教科書にも見られる有名な哲学者たちの思想を取り上げ、紹介することにより、受講者ひとりひとりが哲学の基本的な理論や概念をしっかりと理解できるようになることを目指します。	哲学の基本的な理論や概念を理解・説明できること。	○	○	○	○		
23984	教科専門科目 (中学校教科 社会)	東洋哲学	坂田 登			○	○	○	○		
23985	教科専門科目 (中学校教科 社会)	社会思想史	坂田 登	古代から現代にかけての社会思想についての理解を深める。	社会科教員として必要な倫理思想、社会思想についての理解を深める。	○	○	○	○		
23986	教科専門科目 (中学校教科 社会)	宗教学	坂田 登	宗教というものの本質は何か、またその社会における意味、宗教と教育の関係などについての理解を深める。	宗教というものの本質は何か、またその社会における意味、宗教と教育の関係などについての理解を深める。	○	○	○	○		
23987	教科専門科目 (中学校教科 社会)	哲学演習Ⅰ	坂田 登	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	○	○	○	○		
23988	教科専門科目 (中学校教科 社会)	哲学演習Ⅱ	坂田 登	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	プラトン「国家」の講読演習を通して「哲学する」ことを学ぶ。	○	○	○	○		
23989	教科専門科目 (中学校教科 社会)	比較哲学	坂田 登			○	○	○	○		
24140	臨床教育学 専門科目	発達障害教育総論	三橋 美典	発達障害について、関連した様々な心身障害も含めて、心理・生理・病理特性に関する基礎知識や教育・心理・医療・福祉分野の支援方法を習得させ、多様な症状や個性に応じた柔軟な支援ができる教師としての力量を養う。	発達障害について、様々な心身障害とも関連づけながら、その定義・概念や心理・生理・病理特性に関する基礎知識を身につけるとともに、教育指導方法や心理・医療・福祉分野の様々な支援方法を学び、多角的な観点から個々人ととらえて、多様な症状や特性に応じた柔軟な支援ができるようになる。	○	△		△	◎	
24142	臨床教育学 専門科目	知的障害者の心理・生理・病理Ⅱ	三橋 美典	知的障害について、関連した様々な心身障害も含めて、その心理特性や脳の機構等を中心とした生理・病理特性に関する基礎知識を習得させ、多様な症状や障害特性・程度に応じた柔軟な支援ができる教師としての力量を養う。	関連した様々な心身障害も含めて、知的障害の心理特性や原因となる脳機構等の生理・病理特性に関する基礎知識を身につけるとともに、多様な症状や障害程度に応じた柔軟な支援ができるよう、広い視点から個々人の特性をとらえることができるようになる。	○	△			◎	
24143	臨床教育学 専門科目	病弱教育Ⅱ(精神疾患)	笹原未来 (石井 パークマン 麻子)	病弱教育に関する基本的事項(病弱の定義、歴史、教育課程、状態像等)や今日の課題、多様な状態像を示す病弱児への教育的対応を進める際の留意点について理解する。	病弱教育の基本的事項について理解し、教育的対応のあり方について実践的視点から検討することができる。	(1)△	(1)△	(1)◎		(1)◎	
24145	臨床教育学 専門科目	病弱者の心理・生理・病理Ⅱ	三橋 美典	子どものこころと身体の発達と、その様々な障害における病態生理、医学的・科学的理解を深め、特別支援教育や障害児教育の実践に生かせる知識を習得する。	1・2年生で習得した知識を更に発展させること。教育と医療のよりよい連携が取れるよう、絶えず新しい医学的・科学的知見にも関心をもちようとする。脳科学リテラシーを身につける。	○	△			◎	
24153	臨床教育学 専門科目	発達相談演習Ⅱ	三橋 美典	発達障害等に関する専門的知識や研究方法を習得しながら、卒業研究を計画・実行し、最終的な卒業論文の完成を目指す。	これまでの知識や実践をふまえて、卒業研究を遂行し、卒業論文完成を目指す。	△	△		△	◎	○
24401	障害児教育専 門科目	障害者教育史	三橋 美典	近代日本のあゆみの中で障害児・者の生活と発達への要求が、「教育」という営みと権利の内実においてどのように具体化されてきたのかを学ぶ。	単に知識や歴史の流れをおさえるだけではなく、近代～現代社会において障害児・者がどのように生きてきたのか、そこで教育が果たした意義、役割について、障害児・者の発達と生活の実態に即して具体的に把握することを目標とする。	◎	△		△	○	
24402	障害児教育専 門科目	障害者福祉制度論	石井パークマン 麻子	障害者福祉施策や制度活用に関する基本的知識を習得するとともに、権利擁護や生活全般を支えるという福祉的視点を理解し、幅広い視野で福祉分野と緊密に連携し支援ができる教員になれるよう、その力量を養う。具体的には、①障害者福祉の理念、②障害のある人の生活実態とその人々を取り巻く社会情勢、③障害福祉制度とサービスの概要及び活用方法(ケアマネジメント)、④インクルーシブ社会の実現に向けて教育と福祉との連携の在り方について理解を深める。	①福祉の歴史的背景を知り、権利擁護の視点に立った福祉の思想について理解できる。②福祉制度は流動的なものであり、障害児及びその家族を中心に据えた個々のケアマネジメント実践を通して、今後も改善していくプロセスであることを理解できる。③福祉制度の内容及びその活用方法を知り、教育が福祉とうまく連携(役割分担やつなぎ)するためにどのようにしたらいいかを考えることができる。	(1)△ (2)△ (3)△	(3)◎	(2)○	(1)△ (2)○	(2)○ (3)◎	

学校教育課程 カリキュラム・チェックリスト

授業コード	科目区分	授業科目名	担当教員	授業の目標	学生の目標	ディプロマ・ポリシー ◎＝DP達成のために特に重要な事項、○＝DP達成のために重要な事項、△＝DP達成のために望ましい事項					
						1. 生涯にわたって学び続ける基盤	2. 協働的な学習や問題解決的な学習の指導と評価	3. 教科における重要な概念と探究の方法に関する理解	4. 民主的な集団活動の運営方法と道徳的な指導	5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達への支援	6. 学業形成の足跡を示す学習成果の公開
24432	障害児教育専門科目	障害者教育総論(特別支援教育総論)	石井パークマン 麻子、三橋 美典	様々な障害や困難を持つ人の特性や状況を理解し、教員として学校・園や地域で支援が行えるための特別支援教育の基本事項を習得させる。	様々な心身障害の特性や気がかりな児童生徒の状況・特性について、教育・医療・福祉の多角的な視点から理解するとともに、特別支援学校のみならず、すべての学校種・学級で必要な特別支援教育の理念や支援方法を身につける。	(2)○	(1)◎ (2)◎	(1)◎ (2)○	(1)○	(1)◎ (2)◎	
24450	障害児教育専門科目	障害者教育総論	石井パークマン 麻子	1年次の「特別支援教育総論」で習得した基礎的知識をさらに深め、「障害児教育・特別支援教育の各分野に共通する重要な概念と教育の方法についての理解を深め、特別支援教育の目的・内容・方法について具体的に考える」ことを目標とし、様々な障害や困難を持つ人への支援の質と、障害のある人の一生を見る視点を習得させる。調査学習や支援学習(サービスマーケティング)、プレゼンテーション、ディベートを取り入れた授業構成により、学生に研究的視点と主体的学習態度を身につけさせる。	様々な心身障害の特性や気がかりな児童生徒の状況・特性に関する教育・医療・福祉の多角的な視点からの基礎的理解を習得した後に、さらに深く特別支援教育の理念や支援方法を身につける。教員養成スタンダードにおける障害児教育[B]の3、5、7に掲げた内容が目標である。	(1)○	(1)○	(1)◎(2)○	(1)○	(1)◎ (2)◎	
24404	障害児教育専門科目	知的障害者の心理・生理・病理Ⅱ	三橋 美典	知的障害について、関連した様々な心身障害も含めて、その心理特性や脳の機構等を中心とした生理・病理特性に関する基礎知識を習得させ、多様な症状や障害特性・程度に応じた柔軟な支援ができる教師としての力量を養う。	関連した様々な心身障害も含めて、知的障害の心理特性や原因となる脳機構等の生理・病理特性に関する基礎知識を身につけるとともに、多様な症状や障害程度に応じた柔軟な支援ができるよう、広い視点から個人々の特性をとらえることができるようになる。	○	△			◎	
24405	障害児教育専門科目	肢体不自由者の心理・生理・病理	岡澤慎一 (石井パークマン 麻子)	ここでは、肢体不自由(運動障害)を生活上の一条件として有する人との教育的係わり合いにおいて重要になる視点とその実際について検討する。そのなかで、受講生が障害状況にある人との教育的係わり合いについて、具体的に考え、その方針を立てることができるようになるための基盤を築くことを本授業の目標とする。	肢体不自由(運動障害)を条件として有する人との係わり合い、特に教育的対応において重要になる視点と係わり合いの実際について、具体的に考えることができるようになる。	(1)△	(1)○ (2)○	(1)◎	(1)△	(1)◎	
24407	障害児教育専門科目	病弱者の心理・生理・病理Ⅱ	三橋 美典	子どものこころと身体の発達と、その様々な障害における病態生理、医学的・科学的理解を深め、特別支援教育や障害児教育の実践に生かせる知識を習得する。	1・2年生で習得した知識を更に発展させること。教育と医療のよりよい連携が取れるよう、絶えず新しい医学的・科学的知見にも関心をもちようとする。脳科学リテラシーを身につける。	○	△			◎	
24410	障害児教育専門科目	肢体不自由教育	石井パークマン 麻子	1. 肢体不自由教育の原理について学ぶ 2. 肢体不自由教育の歴史について学ぶ 3. 肢体不自由児者の動作とコミュニケーションの特質およびその課題を理解する。	1. 肢体不自由教育の中心的課題について学ぶ。 2. 肢体不自由者の困難さの起因と実情を理解し、適切な教育的支援について考察する。		(1)○ (2)○	(1)◎	(2)○	(2)◎	
24413	障害児教育専門科目	障害の判別・診断とアセスメント	石井パークマン 麻子、熊谷 高幸、三橋 美典、松木 健一	カリキュラム・ポリシー(学校教育課程)の1及び3、ディプロマ・ポリシー(学校教育課程)の1及び5、教員養成スタンダードの障害児教育のCの1及び4に関連する、特別支援学校教諭免許科目の一つである。	様々な心身障害を判別・診断する様々な方法を身につけ、児童生徒個人々の障害の特性や個性を理解できるようにする。		(1)△	(1)◎	(1)△	(1)◎	
24416	障害児教育専門科目	肢体不自由者教育課程演習Ⅰ	石井パークマン 麻子	卒業研究につながる第一歩として事象を多角的且つ批判的に見、考える思考を育てる。研究方法論の基礎について学び、卒業研究の土台とする。	肢体不自由教育や知的障害教育に関する研究の知見を深め、卒業研究のテーマを決定する。研究的視点の持ち方と代表的な研究方法について学ぶとともに、研究者としての倫理を理解し卒業研究に活かす。	(3)○	(1)○ (2)○	(1)◎	(3)○	(1)◎	
24417	障害児教育専門科目	肢体不自由者教育課程演習Ⅱ	石井パークマン 麻子	肢体不自由および知的障害、重複障害等に関する専門的知識と研究方法を習得しながら、卒業研究を計画・実行し、最終論文をまとめる。	専門分野の知識と経験を深め、卒業研究を遂行し、卒業論文を完成する。また年に数回3年ゼミにおいて、卒業研究の課題と研究方法の選択、経緯等についてレジュメを作成し、発表する。	(1)△		(1)◎	(1)△	(1)◎ (3)◎	
24427	障害児教育専門科目	発達障害教育総論	三橋 美典	発達障害について、関連した様々な心身障害も含めて、心理・生理・病理特性に関する基礎知識や教育・心理・医療・福祉分野の支援方法を習得させ、多様な症状や個性に応じた柔軟な支援ができる教師としての力量を養う。	発達障害について、様々な心身障害とも関連づけながら、その定義・概念や心理・生理・病理特性に関する基礎知識を身につけるとともに、教育指導方法や心理・医療・福祉分野の様々な支援方法を学び、多角的な観点から個人々人ととらえて、多様な症状や特性に応じた柔軟な支援ができるようになる。	○	△		△	◎	
24429	障害児教育専門科目	発達障害者心理学演習Ⅱ	三橋 美典	発達障害等に関する専門的知識や研究方法を習得しながら、卒業研究を計画・実行し、最終的な卒業論文の完成を目指す。	これまでの知識や実践をふまえて、卒業研究を遂行し、卒業論文完成を目指す。	△	△		△	◎	○
24434	障害児教育専門科目	視覚障害教育総論	土谷良巳 (石井パークマン 麻子)	視覚障害児・者の特性・診断方法・指導方法や特別支援教育の概念を理解させ、視覚障害児・者に対する発達支援の基本的考え方を習得させる。	視覚障害児に実際に係わる際についておくべき基礎的知識を身につける。また、脳の働きや感覚機能の生理心理学的な捉え方を理解する。	(1)△	(1)○(2)△	(1)◎(2)◎	(1)△	(1)◎(2)◎	
24437	障害児教育専門科目	特別支援教育総論	石井パークマン 麻子、三橋 美典	様々な障害や困難を持つ人の特性や状況を理解し、教員として学校・園や地域で支援が行えるための特別支援教育の基本事項を習得させる。	様々な心身障害の特性や気がかりな児童生徒の状況・特性について、教育・医療・福祉の多角的な視点から理解するとともに、特別支援学校のみならず、すべての学校種・学級で必要な特別支援教育の理念や支援方法を身につける。	(2)○	(1)◎ (2)◎	(1)◎ (2)○	(1)○	(1)◎ (2)◎	
24440	障害児教育専門科目	肢体不自由教育演習Ⅰ	石井パークマン 麻子	卒業研究につながる第一歩として事象を多角的且つ批判的に見、考える思考を育てる。研究方法論の基礎について学び、卒業研究の土台とする。	肢体不自由教育や知的障害教育に関する研究の知見を深め、卒業研究のテーマを決定する。研究的視点の持ち方と代表的な研究方法について学ぶとともに、研究者としての倫理を理解し卒業研究に活かす。	(3)△		(1)◎	(3)○	(1)◎	
24441	障害児教育専門科目	肢体不自由教育演習Ⅱ	石井パークマン 麻子	肢体不自由および知的障害、重複障害等に関する専門的知識と研究方法を習得しながら、卒業研究を計画・実行し、最終論文をまとめる。	専門分野の知識と経験を深め、卒業研究を遂行し、卒業論文を完成する。また年に数回3年ゼミにおいて、卒業研究の課題と研究方法の選択、経緯等についてレジュメを作成し、発表する。			(1)◎		(1)◎ (2)◎	